

設 計 書

工事名称 松戸市小山消防センター外壁改修その他工事

工事場所 松戸市小山97番地の1

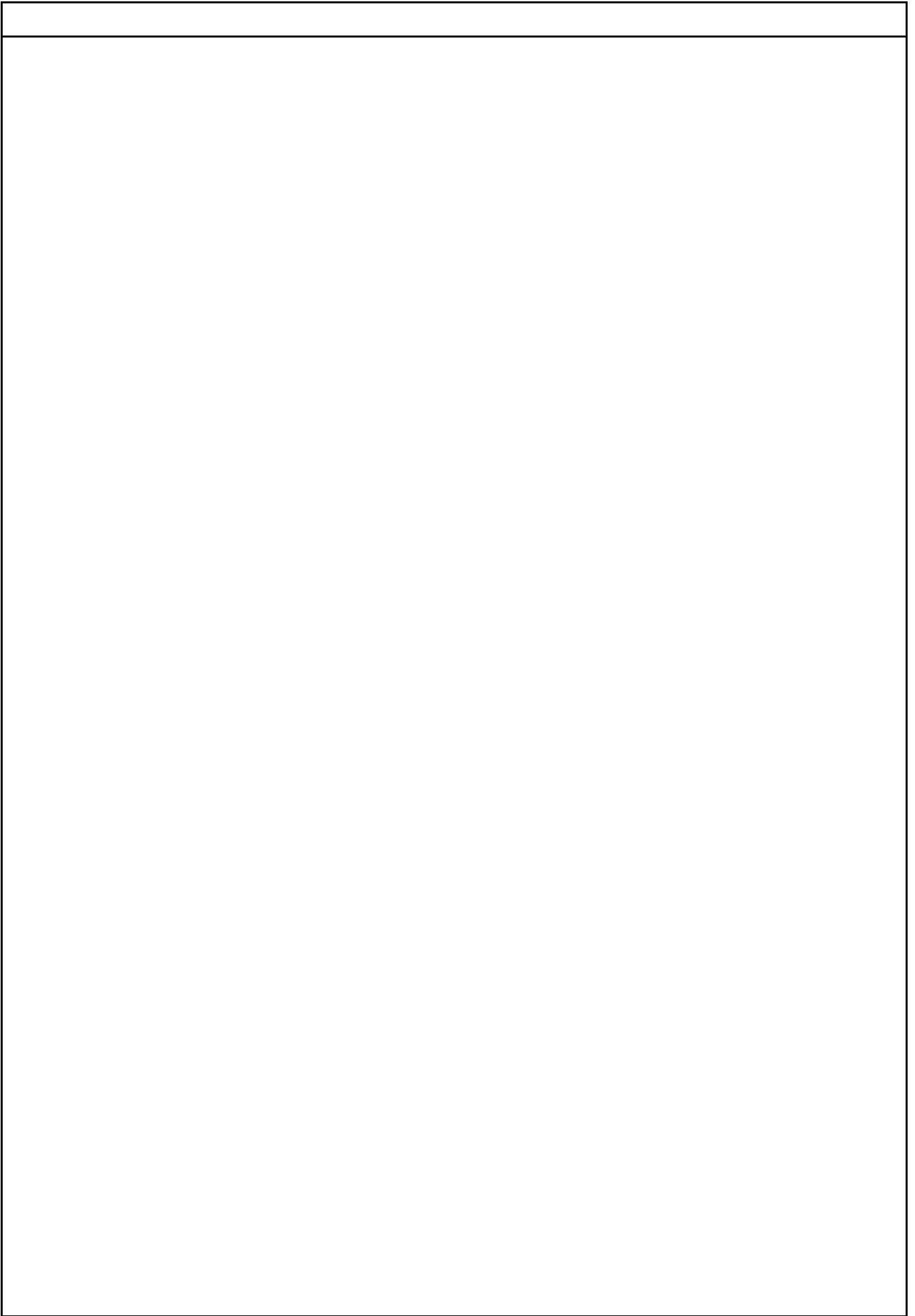
期 間 自 令和 年 月 日
至 令和7年2月14日

設計年月日 令和6年7月

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考



消防センター改修		外壁改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【撤去】						
縦どい撤去	VP管 掴み金物共 集積共	12.6	m			
軒どい撤去	VP管 掴み金物共 集積共	13.4	m			
シーリング 撤去	石綿含有(レベール3) 湿潤手間等共 集積共 ALC目地、RC柱取合、建具等廻り	73.9	m			
シーリング 撤去	建具廻り 集積共 2階	32.6	m			
シーリング 撤去	建具水切 集積共	16.5	m			
既存ガラスボード 撤去(集積共) (手間)	両面	97.4	m			
壁合板・ボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共 軒裏、出入口 廻り縁撤去、水切り撤去共	5.2	m ²			
壁縦見切縁 撤去・新設	7mm製 3m (出入口脇) 軒裏補修、廻縁(7mm)共 集積共	1	式			
館名表示板撤去	SUS製 80×80程度 14文字 集積共	1	式			
シボマーク取外再取 付	集積共	1	式			
ネットフェンス ネット撤去	支柱残し 集積共 L3.4 H1.5m	1	式			
【外壁改修】						
外壁高圧水洗い (手間・損料共)	12MPa(120kg/cm ²)	118	m ²			
壁改修下地調査費		49.1	m ²			
〔ALCパネル・柱面〕						
補修費	ALCパネル 補、RC柱、基礎巾木含む 鉄筋露出部処理等 ハツリ、錆落ブラッシング、エポキシ樹脂埋め	1	式			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	7.8	m ²			
可とう形改修 塗材 E	アクリル系 薄付け仕上	34.7	m ²			

消防センター改修		外壁改修				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎巾木用塗料	下塗り1回・主材塗り2回 下地調整費(C-1)共	6.6	m ²			
[サイディング面]						
補修費	EL充填、端部サイディング等補修	1	式			
D P 塗装 (塗替え)	鉄鋼面 下地調整RB種 下塗り 変性エポキシ樹脂プライマー2回 上塗り等級 3級 既存塗膜除去共 2階スチールサイディング面	58.8	m ²			
D P 塗装 (塗替え)	鉄鋼面 下地調整RB種 下塗り 変性エポキシ樹脂プライマー2回 上塗り等級 3級 既存塗膜除去共 R形破風部、鼻隠し部	10.2	m ²			
[サイディング]						
サイディング	ポリアリレン系(PU-2) 外壁ALCA 柵目地 柱・軒裏廻り	52.1	m			
サイディング 建具廻り	ポリアリレン系(PU-2) ベントキャップ、ウエザー加へ廻り共	54.4	m			
サイディング 建具水切	変成シリコン系(MS-2)	16.5	m			
サイディング ガラス廻り	シリコン系(SR-1)	97.4	m			
[軒裏]						
E P - G 塗り 改修仕様	ボート面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	3.9	m ²			
[出入口]						
E P - G 塗り 改修仕様	ボート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	1.3	m ²			
[その他]						
縦どい	硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー) 60 掴み金物@1200共	12.6	m			
軒どい	硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー) 半円型 100程度 受金物@600	13.4	m			
鉄部塗装 (カー鉄板、ブラケット、鉄扉等)	鉄鋼面 下地調整RB種 下塗り 変性エポキシ樹脂プライマー2回 上塗り等級 3級 既存塗膜除去共					

現場説明書

1. 工事名称 松戸市小山消防センター外壁改修その他工事
2. 工事場所 松戸市小山97番地の1
3. 説明事項

<一般事項>

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 騒音、振動が発生する作業を行う場合は、周辺への配慮を怠らないこと。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し、承諾を得ること。
- ・ 関係官公署への届出は、遅滞なく行うこと。

<工程について>

- ・ 工事の日程等は、監督職員等（監督職員、施設管理者及び関係者）と事前に調整を行うこと。

<仮設について>

- ・ 資機材の搬出入時等は、交通誘導員を常駐配置し、安全確保に努めること。
- ・ 隣接地に足場を設置することは、事前に了承済みであるが、敷地および周辺環境に十分配慮すること。

<週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、週休2日制適用工事である。
- ・ 受注者は、現場閉所(休息)を設け週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には、4週8休達成相当の経費を補正してる。
- ・ 週休2日制の実施に当たっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

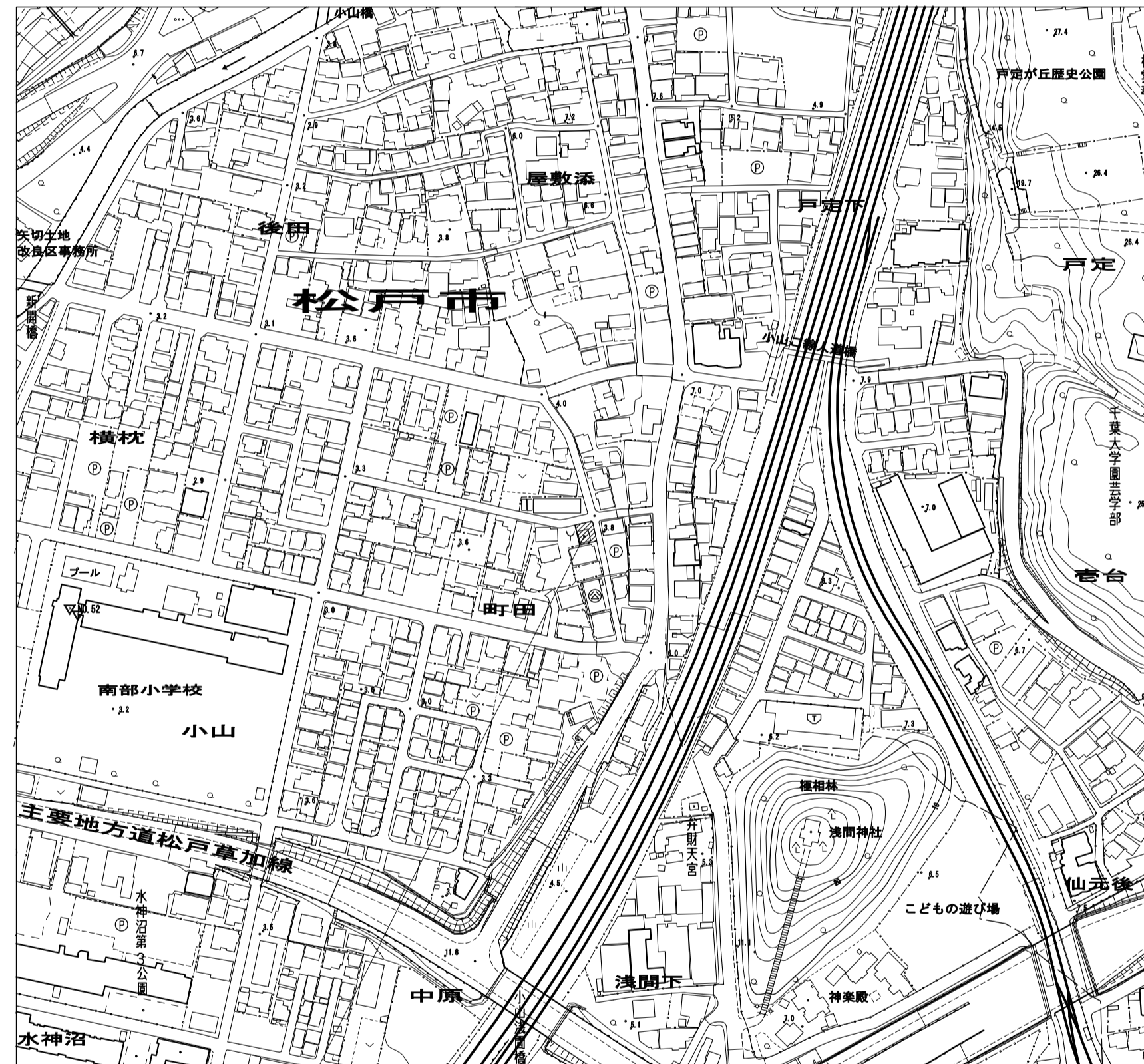
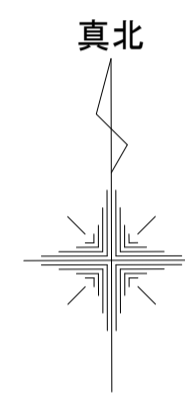
<注意事項>

提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。

検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。

落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

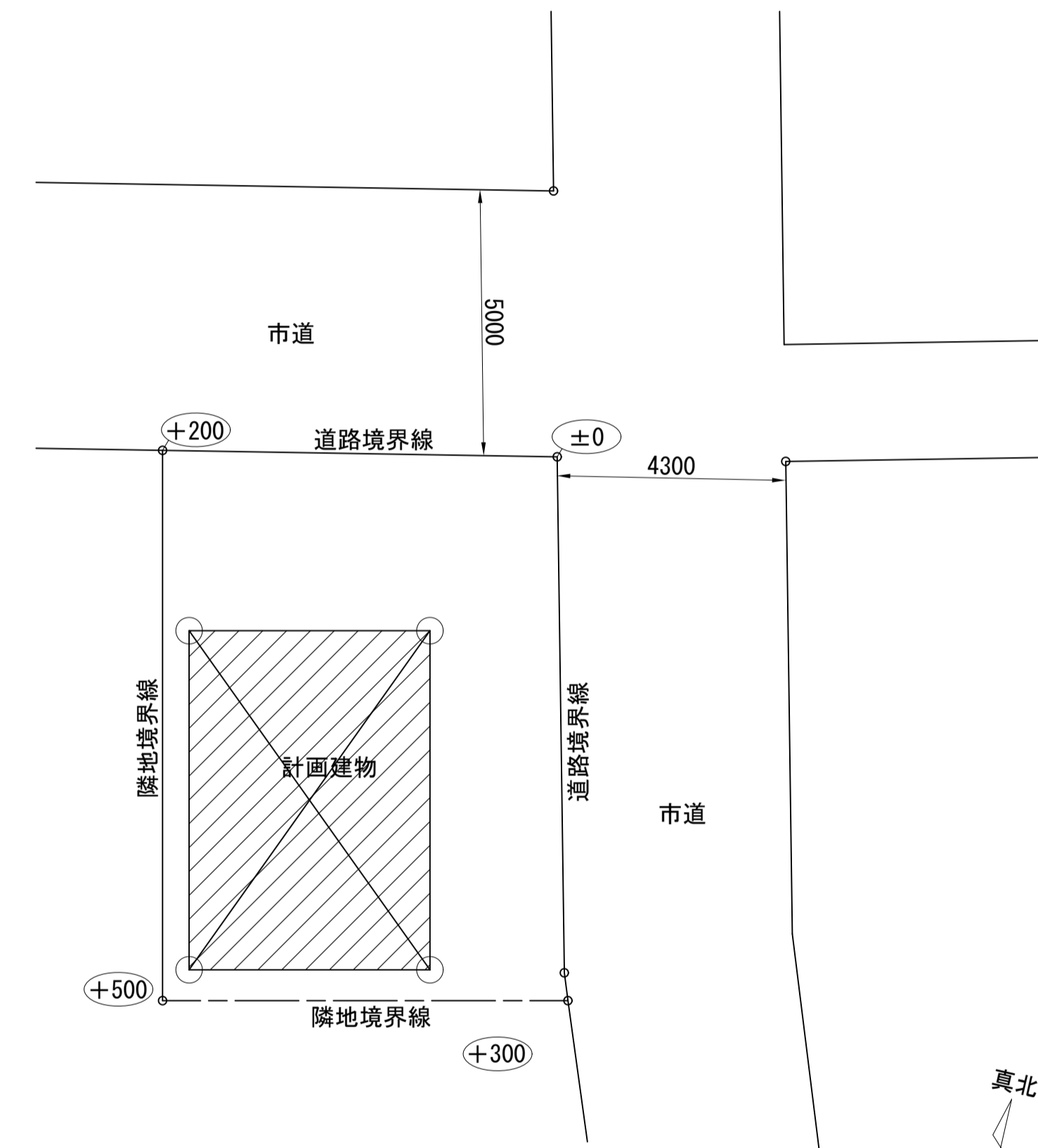
松戸市小山消防センター外壁改修その他工事



工事場所：松戸市小山97番地の1

案内図 S=1:2500

〈凡 例〉 工事場所を示す



配置図 S=1:100

〈凡 例〉 工事箇所を示す

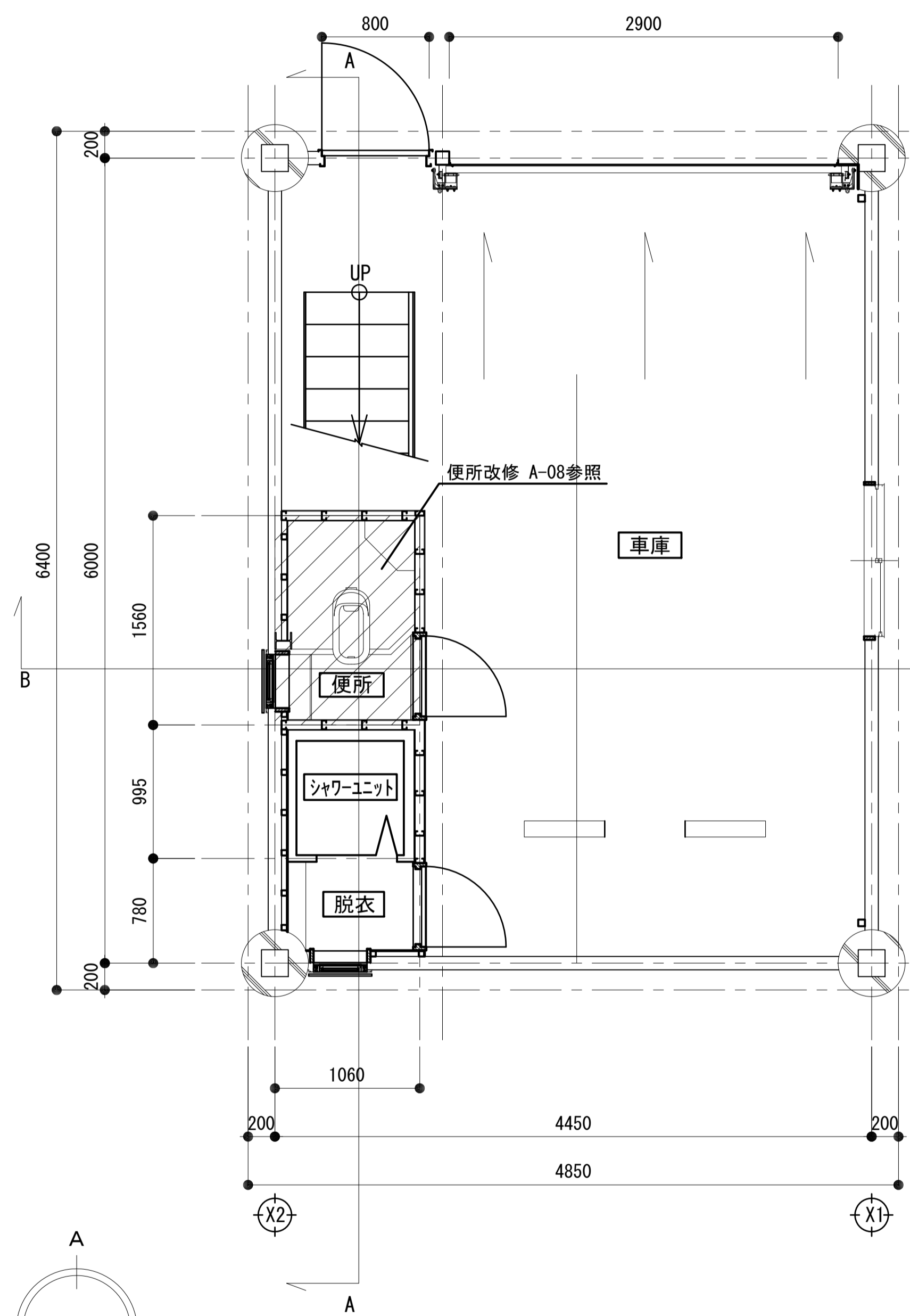
工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和6年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:2500(A1) 1:100(A1)	図面番号	A-01
松戸市 街づくり部 建築保全課			

松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		令和5年4月版																																																													
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																										
I 一般共通事項	① 運用基準等	<ul style="list-style-type: none"> 松戸市建築工事に関する提出書類 工事写真の撮り方 建築編 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修) 松戸市建築工事現場表示板仕様 	13 完成写真	<p>下記のものをご監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>撮影部数</th> <th>原版の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・カラー</td> <td>外部() 内部()</td> <td>※1・6</td> <td>※100×125以上</td> </tr> <tr> <td>※キャビネ版 ・ベタ焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※カラー半切木製パネル</td> <td>外部() 内部()</td> <td>※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・電子データ</td> <td>外部() 内部()</td> <td>※2</td> <td>※200万画素以上 ※300dpi以上</td> </tr> </table> <p>100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめベタ焼きを提出し確認を受ける。 電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)</p>	分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)	・カラー	外部() 内部()	※1・6	※100×125以上	※キャビネ版 ・ベタ焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)				※カラー半切木製パネル	外部() 内部()	※2		・電子データ	外部() 内部()	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>[3.5.2][表3.1.1][表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> <th>仕上げ塗料等</th> <th>使用分類</th> </tr> <tr> <td>・POS工法</td> <td></td> <td>・S-F1 ・S-M1</td> <td>・カラー</td> <td rowspan="4">※非歩行</td> </tr> <tr> <td>・L3S工法</td> <td></td> <td>・S-F2 ・S-M2</td> <td>・シルバー</td> </tr> <tr> <td>・S3S工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S工法</td> <td></td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POSI工法</td> <td></td> <td>・SI-F1 ・SI-M1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・L3SI工法</td> <td></td> <td>・SI-F2 ・SI-M2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4SI工法</td> <td></td> <td>・SI-M3</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 ※設けない ・設ける 目地処理 PCコンクリート</p>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類	・POS工法		・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行	・L3S工法		・S-F2 ・S-M2	・シルバー	・S3S工法				・M4S工法		・S-M1 ・S-M2		・POSI工法		・SI-F1 ・SI-M1			・L3SI工法		・SI-F2 ・SI-M2			・S4SI工法		・SI-M3		
	分類・規格	撮影箇所数		撮影部数	原版の大きさ(mm)																																																										
	・カラー	外部() 内部()		※1・6	※100×125以上																																																										
	※キャビネ版 ・ベタ焼き ・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)																																																														
	※カラー半切木製パネル	外部() 内部()		※2																																																											
	・電子データ	外部() 内部()		※2	※200万画素以上 ※300dpi以上																																																										
	防水改修工法の種類	施工箇所		新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分類																																																									
	・POS工法			・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行																																																									
	・L3S工法			・S-F2 ・S-M2	・シルバー																																																										
	・S3S工法																																																														
	・M4S工法			・S-M1 ・S-M2																																																											
・POSI工法		・SI-F1 ・SI-M1																																																													
・L3SI工法		・SI-F2 ・SI-M2																																																													
・S4SI工法		・SI-M3																																																													
② 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	[1.1.4]	※ 適用する	⑭ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	4 塗膜防水	<p>[3.6.2~4][表3.1.1][表3.6.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> </tr> <tr> <td>・POX工法</td> <td>屋上、庇及びベランダ等</td> <td>・X-1(絶縁工法)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>○X-2(密着工法)</td> </tr> </table> <p>既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合) ・活膜を残す 脱気装置 ※設けない ・設ける</p>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	・POX工法	屋上、庇及びベランダ等	・X-1(絶縁工法)	・		○X-2(密着工法)																																																
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類																																																													
・POX工法	屋上、庇及びベランダ等	・X-1(絶縁工法)																																																													
・		○X-2(密着工法)																																																													
③ 施工計画書	[1.2.2]	<ul style="list-style-type: none"> 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告する。 	15 設計GL	※図示 ・設計GL=現状GL	5 脱気装置	<p>[3.3.2][3.4.2][3.5.2][3.6.2][表3.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>設置数量</th> </tr> <tr> <td>・平面部脱気型</td> <td>・ポリエチレン樹脂 ・ステンレス ・錫鉄</td> <td>・約50㎡当たり1箇所</td> </tr> <tr> <td>・立上り部脱気型</td> <td>・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅</td> <td>・約10㎡当たり1箇所</td> </tr> </table>	種類	材質	設置数量	・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ステンレス ・錫鉄	・約50㎡当たり1箇所	・立上り部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	・約10㎡当たり1箇所																																																
種類	材質	設置数量																																																													
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ステンレス ・錫鉄	・約50㎡当たり1箇所																																																													
・立上り部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	・約10㎡当たり1箇所																																																													
④ 電気保安技術者	[1.3.3]	<ul style="list-style-type: none"> 工事現場に置く電気保安技術者は、電気事象法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3]電気工作物の保安の業務を行うものとする。 	⑯ 工事写真	※工事工程写真(立会い写真含む)1部 着工前、完成写真1部		⑦ シーリング	<p>[3.1.4][表3.1.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>シーリング改修工法の種類</th> <th>材 質</th> <th>設置数量</th> </tr> <tr> <td>・シーリング充填</td> <td>○シーリング打替え</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・拡幅シーリング再充填工法</td> <td>・ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </table>	シーリング改修工法の種類	材 質	設置数量	・シーリング充填	○シーリング打替え		・拡幅シーリング再充填工法	・ブリッジ工法																																																
シーリング改修工法の種類	材 質	設置数量																																																													
・シーリング充填	○シーリング打替え																																																														
・拡幅シーリング再充填工法	・ブリッジ工法																																																														
⑤ 施工条件	[1.3.5]	※ 現場説明書による	⑰ ワンデーレスポンスの実施	ワンデーレスポンスの取り組みについて 1.この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 2.受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程 3.受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4.発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。			⑱ その他(保険等)	※ 本工事の完成引渡しまで工事的物品及び工事材料を火災保険、建設工事保険その他の保険に付すること。																																																							
⑥ 発生材の処理等	[1.3.12]	※ 現場説明書による ・ 場外搬出適正処理	2 仮設工事	① 足場その他			<p>[2.2.1][表2.2.1]</p> <p>内部足場 種別 ※脚立、足場板 ・ 棚足場 外部足場 手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 89711に基づき設置すること。 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・ 定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。</p>	② とい	<p>[3.8.2][表3.8.1]</p> <p>どの材質種 ・配管用鋼管 ※カラー硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) Ⅵ 鋼管製の防露 [3.8.2][表3.8.3] ・次の箇所は行わない() 防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p>																																																						
⑦ 材料の品質等	[1.4.2]	<p>本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。</p> <p>(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3)安定的な供給が可能であること。 (4)法令等で定める許可、認定又は免許を取得していること。 (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。</p> <p>また、備考欄に商品名に記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。</p>	2 養生	<p>[2.3.1]</p> <p>既存部分の養生 ※ビニールシート ・ 合板 厚12 既存家具等の養生 ※ビニールシート ・ 固定家具等の養生 ※行う ・ 行わない</p>			8 アルミニウム製笠木	<p>[3.9.2~3][表3.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼称肉厚(mm)</th> <th>製品幅(mm)</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・150形</td> <td>※1.3程度</td> <td>※150</td> <td>固定方法及び間隔は品質計画で</td> <td>隅角部及び突き当り部等の</td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>※1.8以上</td> <td>※300</td> <td></td> <td>隅は品質計画で</td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>※2.0以上</td> <td>※350</td> <td>定めたもの</td> <td>役物は本体製造所の仕様による。</td> </tr> </table>	種類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考	・150形	※1.3程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で	隅角部及び突き当り部等の	・300形	※1.8以上	※300		隅は品質計画で	・350形	※2.0以上	※350	定めたもの	役物は本体製造所の仕様による。																																			
種類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考																																																											
・150形	※1.3程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で	隅角部及び突き当り部等の																																																											
・300形	※1.8以上	※300		隅は品質計画で																																																											
・350形	※2.0以上	※350	定めたもの	役物は本体製造所の仕様による。																																																											
⑧ 化学物質を放散する建築材料等		<p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。</p> <p>1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジエーテルブチル及びフタル酸ジエーテルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p> <p>規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</p>	3 防水改修工事	<p>[3.3.2][表3.1.1][表3.3.3~10]</p> <table border="1"> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> </tr> <tr> <td>保</td> <td>※PIB</td> <td>・B-1 ※B-2</td> </tr> <tr> <td>護</td> <td>・PIB1 ・TIB1</td> <td>・B1-1 ※B1-2</td> </tr> <tr> <td>防</td> <td>・P2A1</td> <td>・A1-1 ※A1-2</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>※P2A</td> <td>・A-1 ※A-2</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2</td> </tr> <tr> <td>防水</td> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ※D-2</td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>・PIE ・P2E</td> <td>・E-1 ※E-2</td> </tr> <tr> <td>防水</td> <td></td> <td>(保護層は図示による)</td> </tr> </table> <p>アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3.2.2][3.3.2] 保護コンクリートのコンクリート種類 ・普通コンクリート(18N/㎡ S=18mm) [3.3.2][8.11.1] (溶接金網 径6mm 100mm×100mm敷設) POD工法の二重ドレン ※設けない ・設ける [3.2.5] M3D、POD工法の脱気装置 ※設けない ・設ける [3.3.3] 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・除去する [3.2.6] 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ・ [3.3.2] ただし、特定フロンを含まないもの。</p>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	保	※PIB	・B-1 ※B-2	護	・PIB1 ・TIB1	・B1-1 ※B1-2	防	・P2A1	・A1-1 ※A1-2	水	※P2A	・A-1 ※A-2	露出	・M4C	・C-1 ※C-2	防水	・M3D ・POD	・D-1 ※D-2	屋内	・PIE ・P2E	・E-1 ※E-2	防水		(保護層は図示による)																																
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類																																																													
保	※PIB	・B-1 ※B-2																																																													
護	・PIB1 ・TIB1	・B1-1 ※B1-2																																																													
防	・P2A1	・A1-1 ※A1-2																																																													
水	※P2A	・A-1 ※A-2																																																													
露出	・M4C	・C-1 ※C-2																																																													
防水	・M3D ・POD	・D-1 ※D-2																																																													
屋内	・PIE ・P2E	・E-1 ※E-2																																																													
防水		(保護層は図示による)																																																													
⑨ 特別な材料の工法		<p>仕様に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p>	4 仮門	<p>・キャスターゲート W= 3.0 m、H= 1.8 m、1箇所 ・キャスターゲート W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所</p>	9 折板葺	<p>(13.3.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>※重ね形</th> <th>・はざね形</th> <th></th> </tr> <tr> <td>形状 (mm)</td> <td>山高()</td> <td>山ピッチ()</td> <td>板厚 ・0.6 ※0.8</td> </tr> <tr> <td>材 料 (規格等)</td> <td colspan="3">※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)</td> </tr> <tr> <td>軒先面戸板</td> <td colspan="3">※有り ・無し</td> </tr> <tr> <td>断 熱 材</td> <td colspan="3">・有り(種別:) 厚さ: (mm) ※無し</td> </tr> <tr> <td>耐火性能</td> <td colspan="3">・30分耐火 ※無し</td> </tr> </table>	形 式	※重ね形	・はざね形		形状 (mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ・0.6 ※0.8	材 料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)			軒先面戸板	※有り ・無し			断 熱 材	・有り(種別:) 厚さ: (mm) ※無し			耐火性能	・30分耐火 ※無し																																			
形 式	※重ね形	・はざね形																																																													
形状 (mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ・0.6 ※0.8																																																												
材 料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)																																																														
軒先面戸板	※有り ・無し																																																														
断 熱 材	・有り(種別:) 厚さ: (mm) ※無し																																																														
耐火性能	・30分耐火 ※無し																																																														
⑩ 技能士	[1.6.2]	<table border="1"> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定の職種</th> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋施工(鉄筋組立作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・型枠施工</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・とび</td> </tr> <tr> <td>ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・ブロック建築 ・ALCパネル施工</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石材施工(石張り施工)</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・タイル張り</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>・建築大工</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・建築板金(内外葺板金作業)</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>○左官</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・表装(壁装作業)</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・造園</td> </tr> </table>	適用工事種別	技能検定の職種	鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)	コンクリート工事	・型枠施工	鉄骨工事	・とび	ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工	防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業		○塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業	石工事	・石材施工(石張り施工)	タイル工事	・タイル張り	木工事	・建築大工	屋根及びとい工事	・建築板金(内外葺板金作業)	金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)	左官工事	○左官	建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工	カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工	塗装工事	○塗装(建築塗装作業)	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業		・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・表装(壁装作業)	植栽工事	・造園	5 工事用水	<p>[2.4.1]</p> <p>構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・無償) ※子メータを設置する。</p>	10 保証期間	<p>※10年保証とする。</p>																			
適用工事種別	技能検定の職種																																																														
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)																																																														
コンクリート工事	・型枠施工																																																														
鉄骨工事	・とび																																																														
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工																																																														
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業																																																														
	○塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業																																																														
石工事	・石材施工(石張り施工)																																																														
タイル工事	・タイル張り																																																														
木工事	・建築大工																																																														
屋根及びとい工事	・建築板金(内外葺板金作業)																																																														
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)																																																														
左官工事	○左官																																																														
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工																																																														
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工																																																														
塗装工事	○塗装(建築塗装作業)																																																														
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業																																																														
	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・表装(壁装作業)																																																														
植栽工事	・造園																																																														
⑪ 化学物質の濃度測定	[1.6.9]	<p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う 測定対象室 ・ 測定箇所数 ・○箇所</p>	6 仮設道路	<p>・砕石敷(厚さ mm 幅 mm) L= m (砕石は、再生クラッシュヤンを使用) ・鋼板敷(厚さ mm 幅 mm L= m) 枚 ・木製仮設路等+歩行者安全マット敷 L=22m程度</p>	4 外壁改修工事	<p>[1.5.2]</p> <p>調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上裏含む) ・図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の割れ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部</p>																																																									
⑫ 完成図等	[1.8.1~3][表1.8.1]	<p>※作成する ・作成しない ※完成図 提出部数 ※電子媒体 CD-ROM 2枚 ・黒 金文字製本図 1部 ・施工図 提出部数 ※ 部</p>	7 防音シート	※解体作業期間	共通事項	<p>工事名 松戸市小山消防センター外壁改修その他工事</p> <p>図面名 特記仕様書-1</p> <p>作成年月日 令和6年7月 日 変更年月日</p> <p>縮 尺 non scale 図面番号 A-02</p> <p>松戸市 街づくり部 建築保課</p>																																																									
II 建築工事仕様			7 防音シート	<p>・万能鋼板 H= 2.0 m、L= m、箇所 ※成型鋼板 H= 2.0 m、L= m、箇所 ・図示 ・ガードフェンス H= 1.8 m、m、箇所 ・図示</p>	8 アルミニウム製笠木	<p>[3.9.2~3][表3.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼称肉厚(mm)</th> <th>製品幅(mm)</th> <th>固定間隔</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・150形</td> <td>※1.3程度</td> <td>※150</td> <td>固定方法及び間隔は品質計画で</td> <td>隅角部及び突き当り部等の</td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>※1.8以上</td> <td>※300</td> <td></td> <td>隅は品質計画で</td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>※2.0以上</td> <td>※350</td> <td>定めたもの</td> <td>役物は本体製造所の仕様による。</td> </tr> </table>	種類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考	・150形	※1.3程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で	隅角部及び突き当り部等の	・300形	※1.8以上	※300		隅は品質計画で	・350形	※2.0以上	※350	定めたもの	役物は本体製造所の仕様による。																																					
種類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備 考																																																											
・150形	※1.3程度	※150	固定方法及び間隔は品質計画で	隅角部及び突き当り部等の																																																											
・300形	※1.8以上	※300		隅は品質計画で																																																											
・350形	※2.0以上	※350	定めたもの	役物は本体製造所の仕様による。																																																											
1.共通仕様		<p>(1)図面及び特記仕様に記載されない事項は、国土交通大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修仕様」という。)及び国土交通大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「仕様」という。)による。</p>	8 仮門	<p>・キャスターゲート W= 3.0 m、H= 1.8 m、1箇所 ・キャスターゲート W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所</p>	9 折板葺	<p>(13.3.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>※重ね形</th> <th>・はざね形</th> <th></th> </tr> <tr> <td>形状 (mm)</td> <td>山高()</td> <td>山ピッチ()</td> <td>板厚 ・0.6 ※0.8</td> </tr> <tr> <td>材 料 (規格等)</td> <td colspan="3">※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)</td> </tr> <tr> <td>軒先面戸板</td> <td colspan="3">※有り ・無し</td> </tr> <tr> <td>断 熱 材</td> <td colspan="3">・有り(種別:) 厚さ: (mm) ※無し</td> </tr> <tr> <td>耐火性能</td> <td colspan="3">・30分耐火 ※無し</td> </tr> </table>	形 式	※重ね形	・はざね形		形状 (mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ・0.6 ※0.8	材 料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)			軒先面戸板	※有り ・無し			断 熱 材	・有り(種別:) 厚さ: (mm) ※無し			耐火性能	・30分耐火 ※無し																																			
形 式	※重ね形	・はざね形																																																													
形状 (mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ・0.6 ※0.8																																																												
材 料 (規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (CGLCCR-20-AZ150)																																																														
軒先面戸板	※有り ・無し																																																														
断 熱 材	・有り(種別:) 厚さ: (mm) ※無し																																																														
耐火性能	・30分耐火 ※無し																																																														
2.特記仕様		<p>(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は共に適用する。 (3)特記事項に記載の[]内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4)特記事項に記載の()内表示番号は、仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5)⑥印は「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。</p>	9 仮囲い	<p>・万能鋼板 H= 2.0 m、L= m、箇所 ※成型鋼板 H= 2.0 m、L= m、箇所 ・図示 ・ガードフェンス H= 1.8 m、m、箇所 ・図示</p>	10 保証期間	<p>※10年保証とする。</p>																																																									
3.松戸市建築工事現場表示板仕様		<p>松戸市建築工事現場表示板仕様</p> <p>(1)材料 1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上り) 2)枠及び棧木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。</p> <p>(2)注意事項 1)表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。</p>	10 仮設道路	<p>・砕石敷(厚さ mm 幅 mm) L= m (砕石は、再生クラッシュヤンを使用) ・鋼板敷(厚さ mm 幅 mm L= m) 枚 ・木製仮設路等+歩行者安全マット敷 L=22m程度</p>	4 外壁改修工事	<p>[1.5.2]</p> <p>調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上裏含む) ・図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の割れ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部</p>																																																									

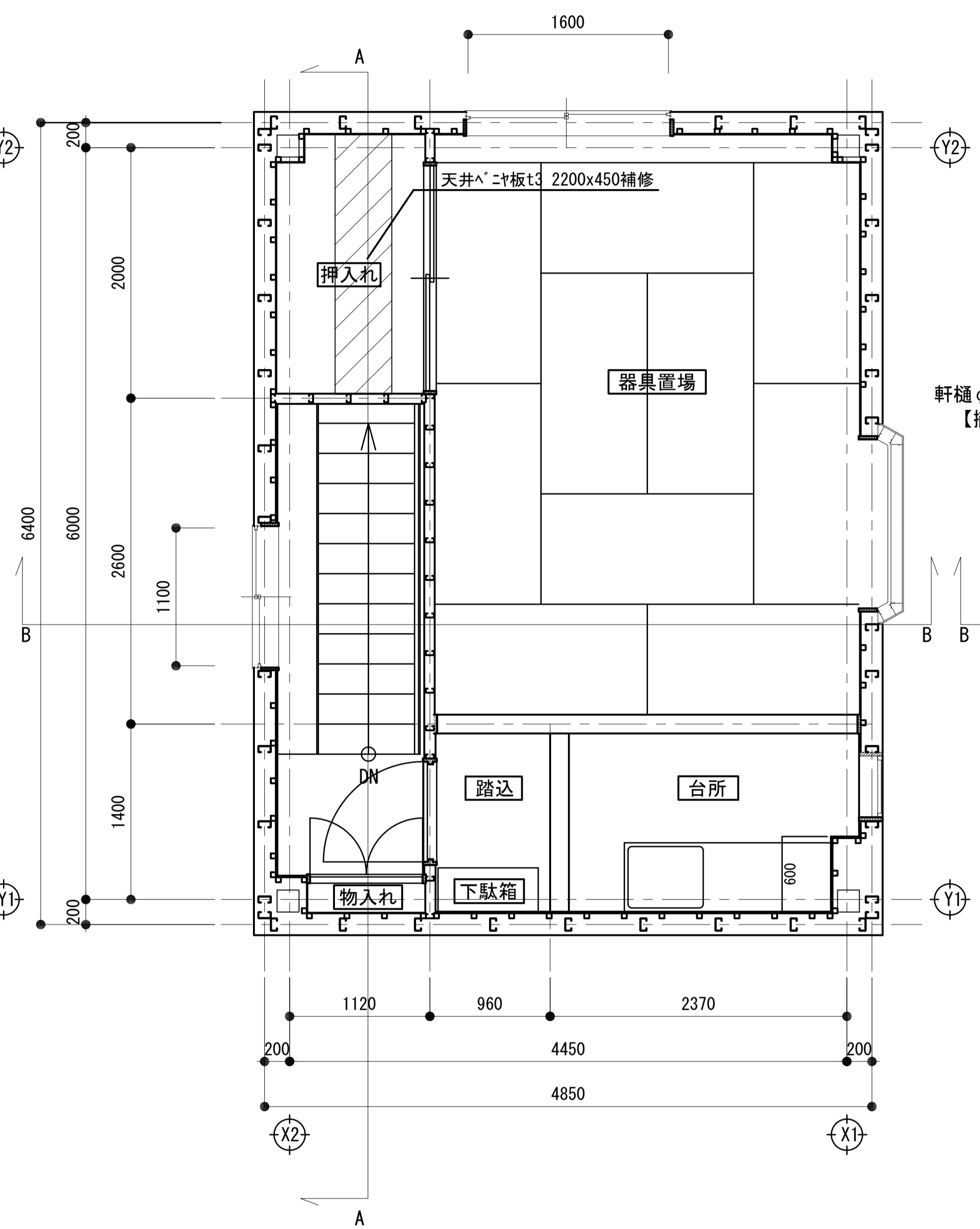
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
4	②改修材料	○既製適合モルタル 保水率(%) 単位容積質量(kg/l) 接着強さ(N/mm) 長さ変化率(%) 曲げ強さ(N/mm) 70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以上 4.0以上	4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの除去 ・行う(※監督職員の指示による)	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4]	4 浮き部改修工法 改修工法の種類(タイルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※16 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml ・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。 ※モルタル下地補強として、注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(1本/m)をタイル除去部全体に行うこと	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]				
		○パテ状エポキシ樹脂 初期硬化性(標準) 接着強さ(標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 2.0N/mm以上 6.0N/mm以上 50.0N/mm以上 30.0N/mm以上 3.0(%)以上 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常温(温度5℃~35℃、湿度15%~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。						2 欠損部改修工法 ・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8~9] 改修工法の種類 材料 品質・規格等 ・充填工法 エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法 改修標仕4.2.2(7)による 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示	5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3] 6 タイルクリーニング ・エスケー化研精 タイルクリーンNEO同等品とする	5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]	
		○可とう性エポキシ樹脂 性能 常温物性 低温性 加熱変化 引張接着性 引張強さ 1.0N/mm以上 1.0N/mm以上 1.0N/mm以上 最大引張応力 1.0N/mm以上 伸び 30.0%以上 30.0%以上 30.0%以上 破断時の伸び 10.0%以上 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c.常温・常温(温度5℃~35℃、湿度45%~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。						3 欠損部改修工法 ・既存モルタル面の欠損部 [4.1.4][4.4.8~9] 改修工法の種類 材料 品質・規格等 ・充填工法 エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法 改修標仕4.2.2(7)による 塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示	5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3] 6 タイルクリーニング ・エスケー化研精 タイルクリーンNEO同等品とする	5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]	
		・タイル部分張替え工法用材料 接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化 強度(N/mm) 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 凝集破壊率(%) 75以上 50以上 50以上 50以上 50以上 皮膚刺激性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さ(N/mm) 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 伸び(%) 30以上 30以上 30以上 20以上 20以上 耐摩定性 容積と粘土に着しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548(準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。 a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。 c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e.ずれ抵抗性があること。 f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。						4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3] 6 タイルクリーニング ・エスケー化研精 タイルクリーンNEO同等品とする	5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]	
○エポキシ樹脂モルタル 接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ 1.0N/mm以上 20.0N/mm以上 10.0N/mm以上 a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。 b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e.常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。	5 巾木モルタル塗 ・樹脂モルタル T3	5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3] 6 タイルクリーニング ・エスケー化研精 タイルクリーンNEO同等品とする	5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]								
○ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等 曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ(N/mm) (N/mm) (N/mm) 標準時 低温時 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	5 巾木モルタル塗 ・樹脂モルタル T3	5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3] 6 タイルクリーニング ・エスケー化研精 タイルクリーンNEO同等品とする	5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]								
○ポリマーセメントスラリー 広がり速度 長さ変化率(収縮) 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 (cm/s) (材齢28日) (材齢28日) (劣化曲げ強さ) 3以上 3.0%以下 0.5N/mm 5.0N/mm 15%以下 6.0N/mm 以上 以上 以上 以上 保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00 ・吸水調整材 項目 全面形状(%) 吸水性(g) 接着強度(N/mm) 界面破壊率(%) 品質・性能 表示値±1%以内 30分で1g以下 0.98以上 50%以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	5 巾木モルタル塗 ・樹脂モルタル T3	5 下地処理 サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.2.2][4.6.3] 6 タイルクリーニング ・エスケー化研精 タイルクリーンNEO同等品とする	5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]								
4-1	①ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(ml/m) 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※製造所の仕様による ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130 ・ 注入工法 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) [4.2.2] 検査(コア抜き) ※行わない [4.3.4] ・行う(抜き取り部の補修方法:)	4-1 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	4-1 既存モルタル塗りの除去 ・行う(※監督職員の指示による)	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]					
4-1	②欠損部改修工法(鉄筋補修含む)	○充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル	4-1 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	2 欠損部改修工法(鉄筋補修含む) ・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ・ポリマーセメントモルタル	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]					
4-1	③浮き部改修工法	○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.10] (モルタル塗木・バラベツト天端部分) ・樹脂モルタル T3	4-1 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]						
4-1	④巾木モルタル塗	・樹脂モルタル T3	4-1 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]						
5	1 改修工法の適用	種類 かがせ工法 撤去工法 備考 ・アルミニウム製建具 ・有り ・有り 門扉新設 [5.11.3] ・鋼製建具 ・有り ・有り 機械室扉、階段室扉 [5.11.4] ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ・自動ドア開閉装置 ・重量シャッター ・特殊な建具の仮組(建具符号:) [5.1.5] 外部に面する建具 [5.2.2][表5.2.1] 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ・図示 ・B種 S-5 ・ ・ ※100 ・C種 S-6 A-4 W-5 100	5 建具改修工事	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]						
5	2 見本の製作等		5 建具改修工事	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]						
5	3 アルミ製建具		5 建具改修工事	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.5.9~15][表4.4.3~4] 改修工法の種類(モルタルを除去しない場合) アンカーピンの本数(本/m) 注入口の箇所数(箇所/m) 充填量 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ※25ml ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※狭幅部:5本/m ※狭幅部:5本/m ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml ・ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとす。 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。	4 表面処理 ・BA-1種 ・BA-2種(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) [5.2.4][表5.2.2] 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 [5.2.4][表5.2.2] ・C-2種又はB-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) 防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形式 ・外部可動式 ※固定式 5 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による 特定防火設備戸 ・適用する [5.4.4] 6 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2] 7 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による [5.6.2] 耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.4] 表面仕上げ ※HL仕上げ ・顔面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5] 防火戸 ・適用する [5.6.4]						
工事名 松戸市小山消防センター外壁改修その他工事 図面名 特記仕様書-2 作成年月日 令和6年7月 日 変更年月日 縮尺 non scale 図面番号 A-03 松戸市 街づくり部 建築保全課											

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
6 装 改 工 事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2~3] 屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 監督職員と協議する。	①一般事項 [9.1.3] 8 環 境 配 慮 へ グ リ ー ン 改 修 工 事 2 ア ス ベ ス ト 含 有 吹 付 材 除 去 工 事	①一般事項 [9.1.3] 8 環 境 配 慮 へ グ リ ー ン 改 修 工 事	アスベスト含有吹付材材の処理工事の方法 [9.1.3] ・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示 分析によるアスベスト(7α/9αイ、7βイ、7γイ、7δイ、7εイ)含有の調査 ・行う(下表による) ○行わない	6 外 断 熱 改 修 工 事	断熱材の種類 [9.3.2] 材料名 厚さ(mm) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム ・押出法ポリスチレンフォーム ・硬質ウレタンフォーム ・フェノールフォーム ・ロックウール ・グラスウール	③合成樹脂塗合 ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1] ④鉄鋼面耐候性塗料 塗り(DP) [7.8.2~4][表7.8.1~3] ⑤つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1] 6 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1] 7 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1] 8 ウレタン樹脂 ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1] 9 オイルステイン 塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1] 10 木材保護塗料塗り (WP) [7.14.2][表7.14.1] 11 ポリウレタン樹脂 塗装(2-UC)	③合成樹脂塗合 ペイント塗り(SOP) [7.4.3][表7.4.1] ④鉄鋼面耐候性塗料 塗り(DP) [7.8.2~4][表7.8.1~3] ⑤つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り(EP-G) [7.9.2][表7.9.1] 6 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り(EP) [7.10.2][表7.10.1] 7 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1] 8 ウレタン樹脂 ワニス塗り(UC) [7.12.2][表7.12.1] 9 オイルステイン 塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1] 10 木材保護塗料塗り (WP) [7.14.2][表7.14.1] 11 ポリウレタン樹脂 塗装(2-UC)	7 耐 震 改 修 工 事	『耐震補強工事構造特記仕様書』による。	
	②下地調整	[7.2.2~7][表7.2.1~7] 下地調整の種類 下地調整の種類 備考 木部 ・RA種 ※RB種 新規面はRA種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 垂鉛めっき鋼面 ・RA種 ※RB種 モルタル、プラスター面 ・RA種 ※RB種 コンクリート、ALC及び押出成形 ・RA種 ※RB種 セメント板面 ・RA種 ※RB種 せっこうボード、その他ボード面 ・RA種 ※RB種 既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5~6] ※行う ・行わない ※禁止 JIS K 5674		2 アスベスト含有 吹付材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。 アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 測定時期 測定場所 測定点数 備考 (各処理作業区毎) 処理作業前 施工区画周辺又は敷地境界 2又は3点 全工区共通 処理作業中 施工区画周辺又は敷地境界 2点 全工区共通 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 (隔離シート 撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 (注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、 監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。		外断熱改修工事 [9.3.2] 外装材の種類 [9.3.2] 防火性能 既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.3.3] 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 透気層 ・有り(mm) ・なし [9.3.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。					
	③合成樹脂塗合 ペイント塗り(SOP)	[7.4.3][表7.4.1] 下地の種類 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備考 木部 ・A種 ※B種 ※B種 下塗りJASS 18 M-304 中塗り及び上塗りJIS K 5516 鉄鋼面 ・A種 ※B種 ※B種 穴埋め及びパテかきJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516		3 アスベスト含有吹付 材囲い込み工事	建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の 種別は除去処理工事である。 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の 有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害 予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。		7 ガラス改修工事 [9.4.2] 8 屋上緑化改修工事 [9.6.2] 9 透水性アスファルト 舗装改修工事 [9.7.3][表9.7.3] [9.7.3] 遮断層及び土壌抑制層の材料 [9.7.3] ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ・土壌抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切込み砂利 ・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 路床安定処理 [9.7.3][表9.7.2] ※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上) ・ 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固めの試験 ※行う アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.5] 車道部 ※改質アスファルトI型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9.7.9] アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う					
	④鉄鋼面耐候性塗料 塗り(DP)	[7.8.2~4][表7.8.1~3] 下地の種類 上塗りの等級 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備考 鉄鋼面 ・1級 ・2級 ※3級 ※A種 ・B種 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 JIS K 5659 垂鉛めっき面 ・1級 ・2級 ※3級 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 JIS K 5659 コンクリート 押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種 JIS K 5658 鉄面、垂鉛めっき面 下塗りJASS 18 M-109 コンクリート、押出成形セメント板面 下塗りJASS 18 M-201		4 アスベスト成形板 の処理工事	経鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形#300)とし、既存天井面には 施されない。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。 アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点 を実施する。 —内部測定点内訳— <1階： 点、2階： 点、3階： 点> 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。		9 そ の 他					1 舗装工事 (22.5.2)(表22.5.1) 歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 設計基準強度 所定のスランプ 部 位 (N/m ²) (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm) 車路及び駐車場 24 8 砂利の場合25又は40 碎石の場合20又は25 歩行者用通路 18 8 砂利の場合25 碎石の場合20 砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1) 種類 ・A種 ・B種 2 植栽工事 (22.3.2) 樹 種 寸 法 数 量 備 考 3 外構工事 ・メッシュフェンス 朝日スチール工業㈱ 朝日UNフェンス 同等品とする。 ・目隠しフェンス 朝日スチール工業㈱ 目かくしフェンスXII型 XAプライド 同等品とする。 4 下足入れ ・コクヨ㈱ SK-64FIN 同等品とする。 5 快道トイレの試行 ・現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快道トイレを設置することを原則とする。 (12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、 必須ではない。 (1) 洋式便器 (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む) (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg 以上とする) (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等) (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品 (12) 室内寸法900×900mm 以上(面積ではない) (13) 擬音装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場(トイレレットペーパー予備置き場等) ・快道トイレに要する費用 快道トイレに要する費用については、当初は計上していない。 受注者は、上記1の内容を満たす快道トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細 について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。 (1)～(11)の費用については、10,000円/基・月(従来品)を除いた額を差し引いた後、 51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。 なお、設計変更数量の上限は、1基までとする。 また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、1基より多く設置する場合や積算上限額 を超える費用については、別途計上は行わない。 ・その他 快道トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、対象外とする。
	⑤つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り(EP-G)	[7.9.2][表7.9.1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの種別 ・A種 ※B種 下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660		5 アスベスト含有外壁 仕上げ材の除去	アスベスト含有外壁仕上げ材の除去に先立つ試験的一部除去作業の方法 (1)試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工区画の範囲は口500mm程度とする。 (2)試験的除去は剝離剤併用工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有外壁仕上げ材除去作業の方法 ○部分除去 ・全面除去 アスベスト含有外壁仕上げ材部分除去作業 (1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2)建設技術審査証明書を書けている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 (剝離剤併用工具ケレン工法同等とすること) (3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習終了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業 主任者の有資格者とする。 (5)廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配 置する。(専任) (6)アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関と する。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (大気汚染防止法→松戸市環境保全課 労働安全衛生法→柏労働基準監督署) (8)本工事において令和3年4月1日より施行された大気汚染防止法の改正法令を遵守すること、 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関 する諸法令を遵守すること。 (9)外壁足場設置時の壁つなぎ穿孔及びアスベスト含有外壁仕上げ材の除去において、石綿等を 湿潤後、集塵機付き電動工具を使用した場合は、作業環境測定は不要とする。							
	⑥耐震補強工事構造特記仕様書	[7.12.2][表7.12.1] ・A種 ※B種 1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502										
	⑦耐震補強工事構造特記仕様書	[7.13.2][表7.13.1] ワトコオイル製品同等品とする。										
	⑧耐震補強工事構造特記仕様書	[7.14.2][表7.14.1] ・A種 ※B種 JASS 18 M-307										
	⑨耐震補強工事構造特記仕様書	[7.11.2][表7.11.1] 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの場合 既存塗膜 下地調整 種別 合成樹脂エマルジョン模様塗り ※RB種 ※A種 ・RC種 ※C-3種 平滑な塗料塗り ※RB種 ・A種 ・B種 ・RC種 ・C-1種 ・C-2種 下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663										

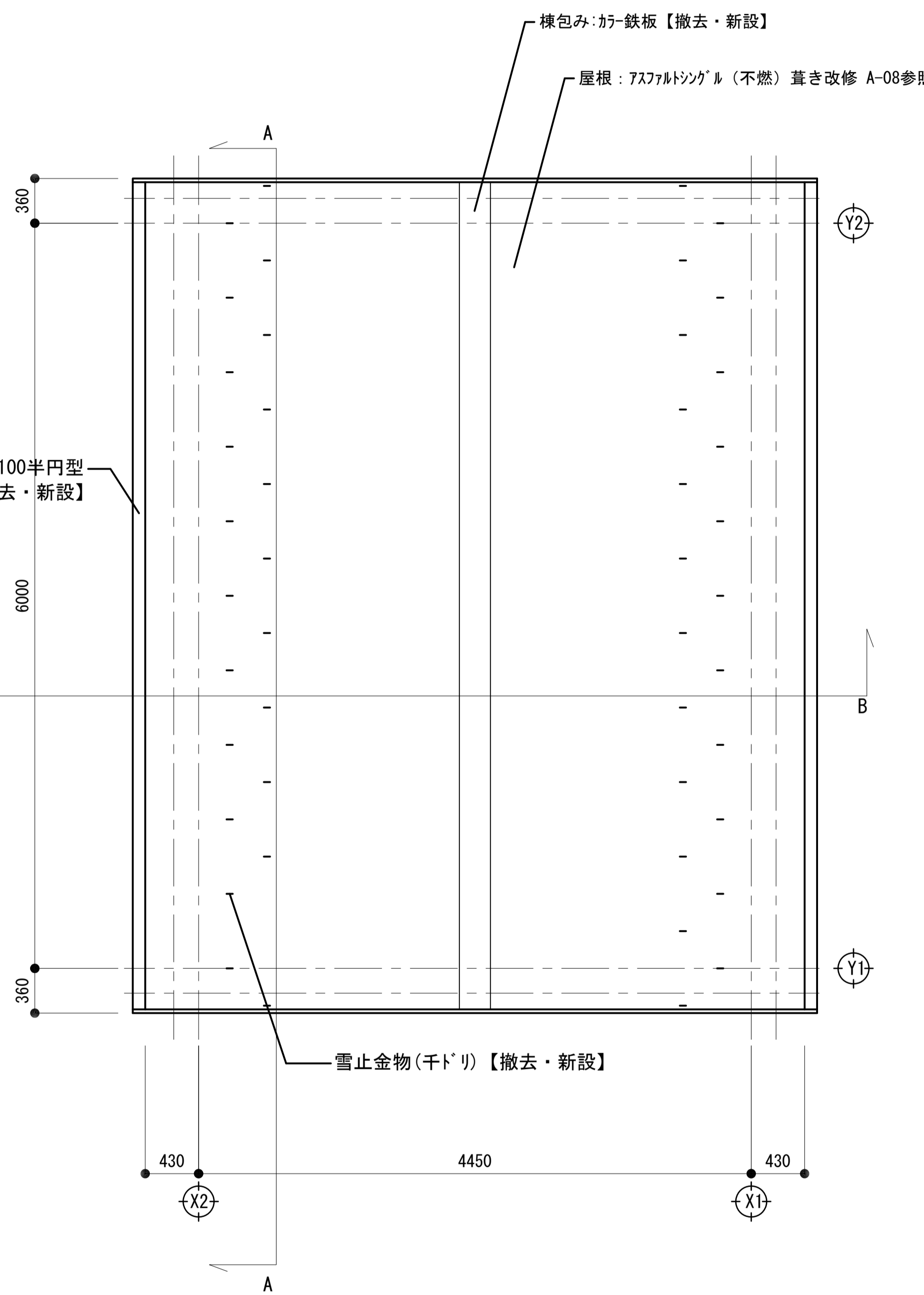
工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	特記仕様書-3		
作成年月日	令和6年7月	日	変更年月日
縮尺	non scale	図面番号	A-04
松戸市 街づくり部 建築保全課			



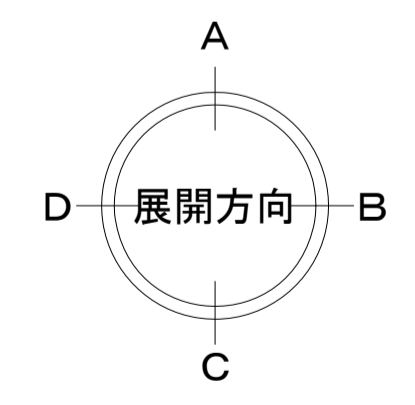
1階平面図 S=1:30



2階平面図 S=1:30

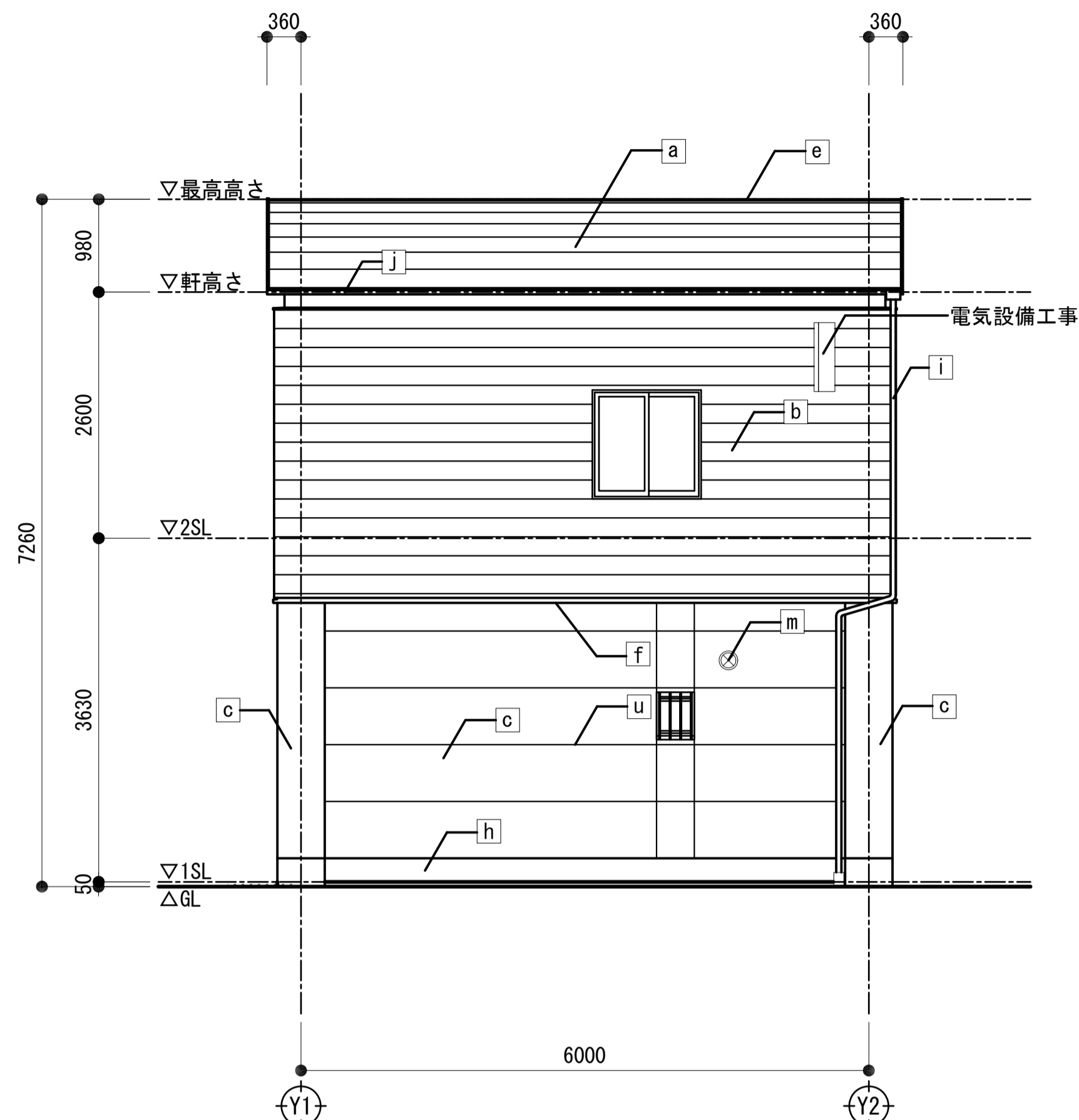


屋根伏図 S=1:30

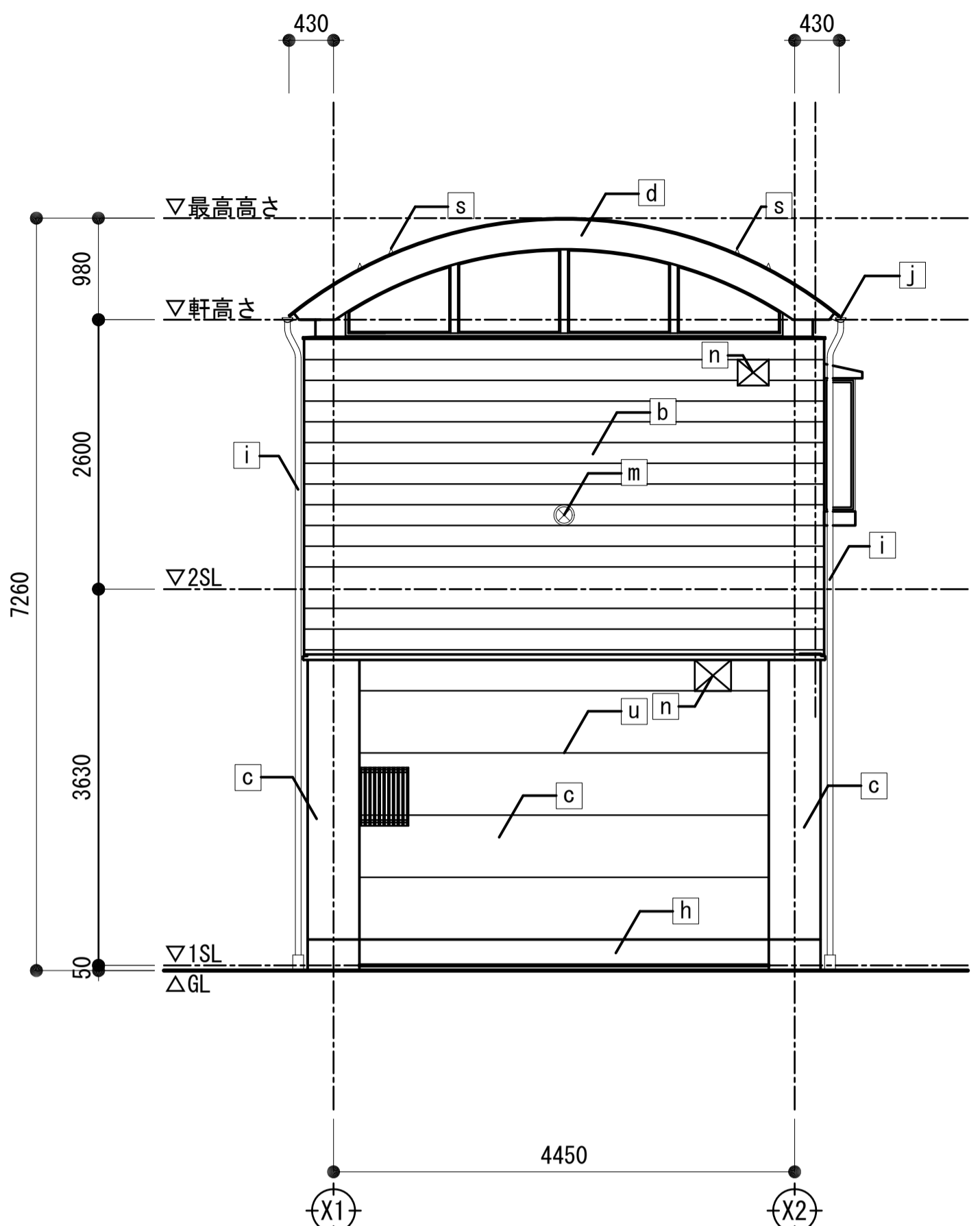


凡例 工事範囲を示す

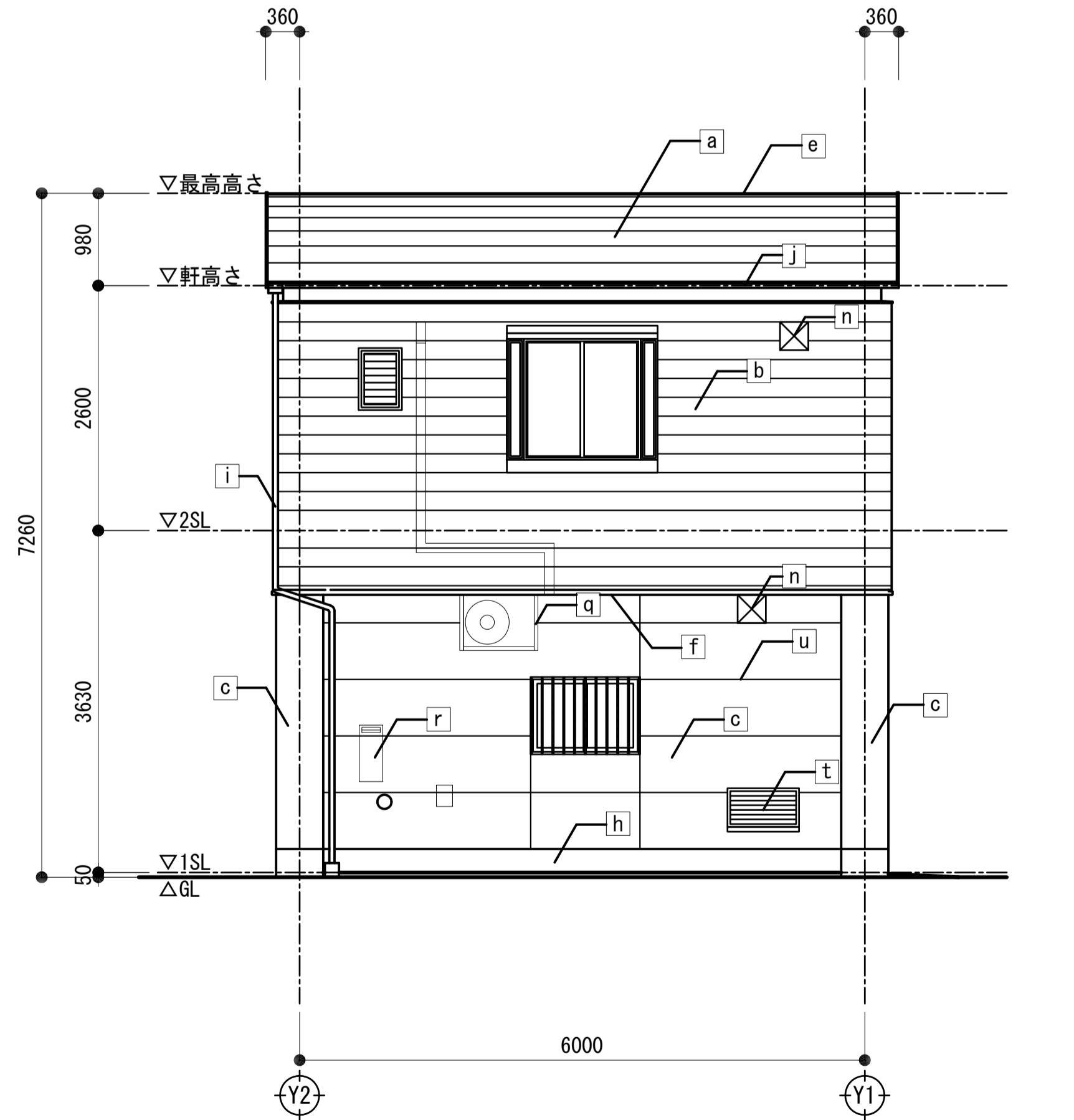
工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	平面図		
作成年月日	令和6年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:30 (A1)	図面番号	A-05
松戸市 街づくり部 建築保全課			



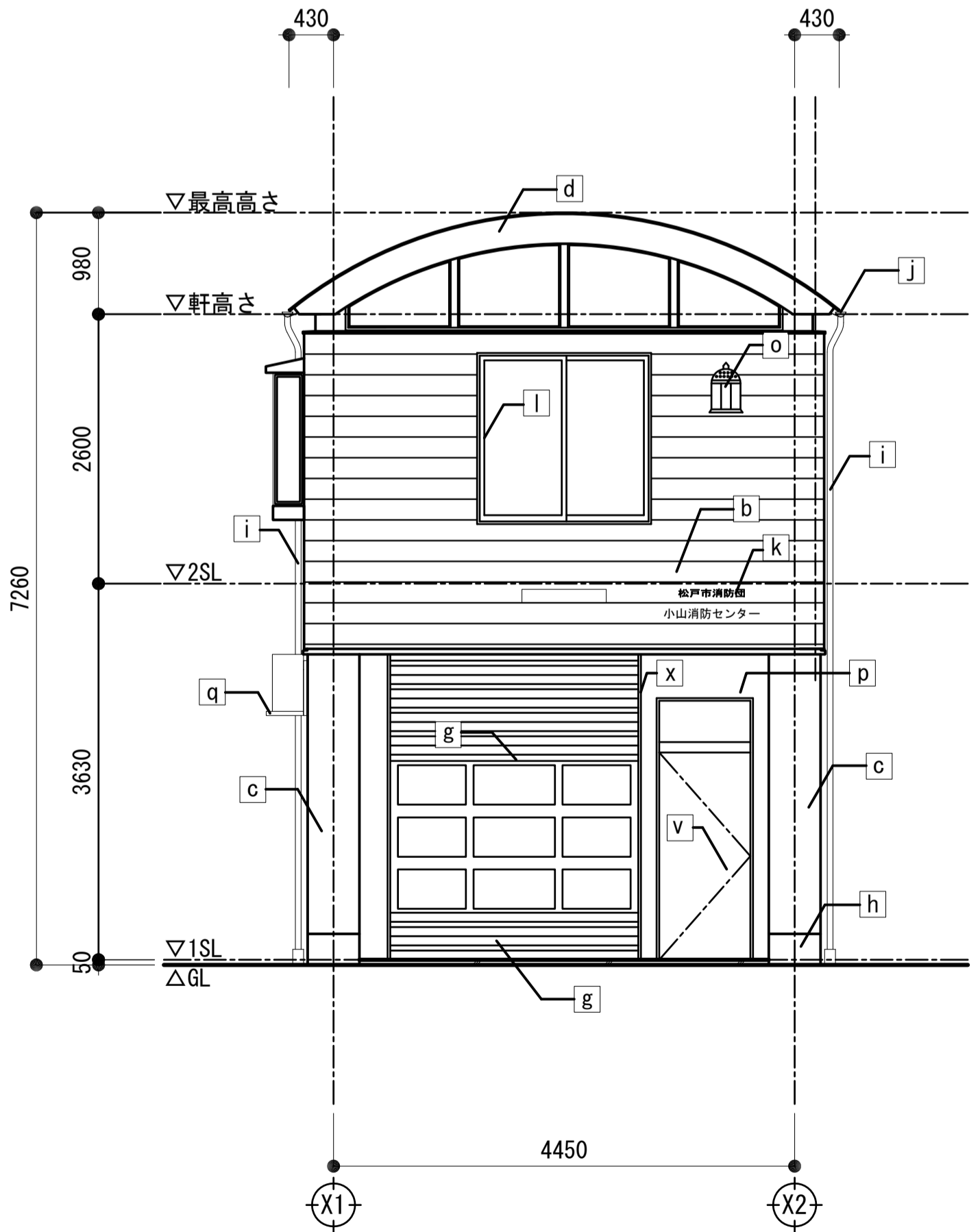
西側立面図 S=1:50



南側立面図 S=1:50



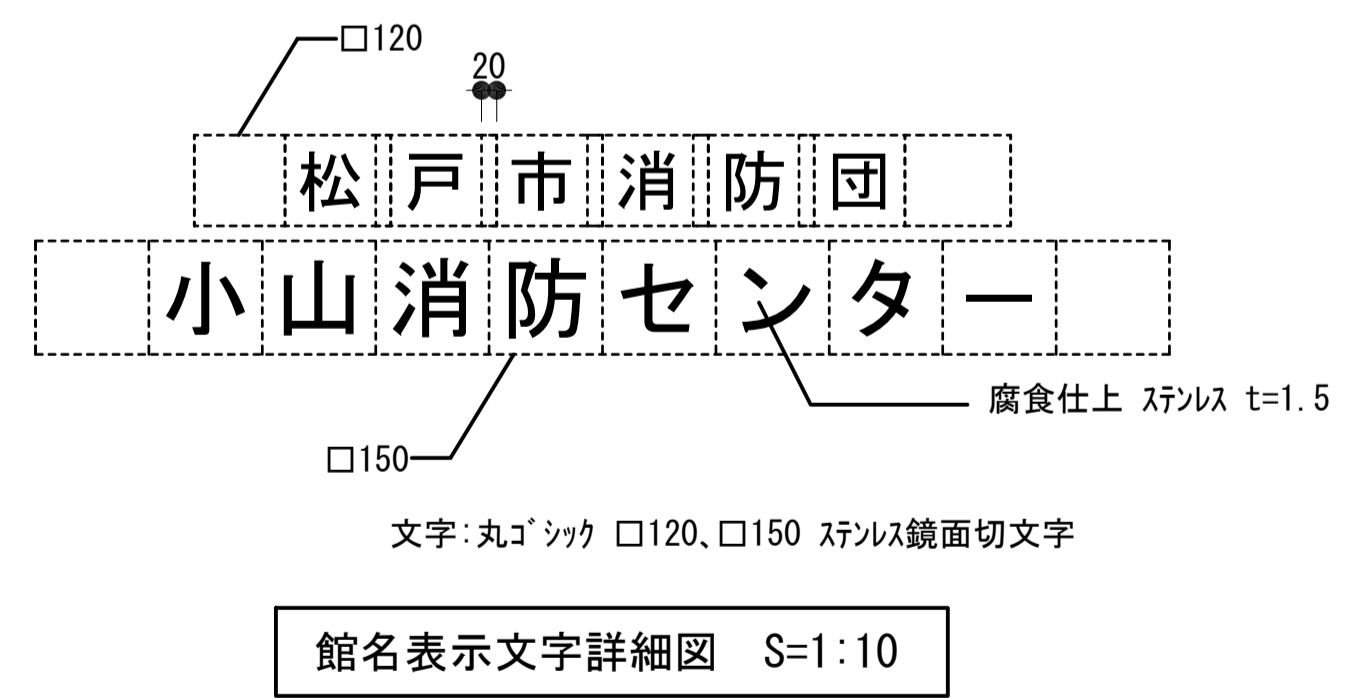
東側立面図 S=1:50



北側立面図 S=1:50

■凡例		
a 屋根	改修前	アルミ樹脂系ルーフing【撤去】及び野地板耐水ペニ12【一部改修】
	改修後	アルミ樹脂系ルーフing【新設】、野地板耐水ペニ12【一部新設】及び同耐水ペニ12【新設】
b スチールサイディング	改修前	スチールサイディング【既存のまま】
	改修後	下地調整後、DP塗装
c ALCパネル・RC打放し柱型	改修前	吹付サイ（アース含有塗材）
	改修後	下地調整後、複層塗材E（補修部：下地調整後（C-1）後、可とう形改修塗材）【塗替】
d R形破風	改修前	カラー鉄板【既存のまま】
	改修後	下地調整後、DP塗装
e 横包み	改修前	カラー鉄板【撤去】
	改修後	カラー鉄板【新設】
f 1階軒裏	改修前	ケイカル板t6（アース含有材）VP塗装【撤去】
	改修後	ケイカル板t6 EP-G塗装【新設・塗装】
g オーバーサイディング	改修前	亜鉛鉄板t0.8焼付塗装（オーバーサイディング）【既存のまま】
	改修後	DP塗装（オーバーサイディング外面）DP塗装【塗替】 尚、オーバーサイディング内側はクリーニングのみとする
h 巾木	改修前	RC打放し【既存】
	改修後	下地調整（C-1）後、ホリマセメント系基礎巾木用塗材【新設】
i 壁種	改修前	硬質塩ビ管φ60 挿み金物φ1.200【撤去】
	改修後	カラーVP管φ60 SUS製挿み金物φ1.200【新設】
j 軒種	改修前	軒種 カラー塩ビ半円型 φ100 受金物 @600【撤去】
	改修後	軒種 カラー塩ビ半円型 φ100 受金物 @600【新設】
k 館名表示板	改修前	SUS製切文字【撤去】
	改修後	SUS製箱文字【新設】
l 既存ガラスビード	改修前	シーリング両面【撤去】
	改修後	シーリング両面【新設】
m ベントキャップ	改修前	【既存のまま】
	改修後	クリーニング（同廻りシーリング撤去・新設）
n ウェザーカバー	改修前	【既存のまま】
	改修後	クリーニング（同廻りシーリング撤去・新設）
o シンボルサイン	改修前	【取外】
	改修後	【再取付】
p フレキシブル板	改修前	t6 VP塗装【撤去】
	改修後	t6 EP-G塗装【新設・塗装】
q エアコン室外機架台	改修前	DP塗装
	改修後	下地調整後、DP塗装【塗替】
r ガス給湯機鉄部	改修前	DP塗装
	改修後	下地調整後、DP塗装【塗替】
s 雪止め	改修前	【撤去】
	改修後	SUS製φ600ドリ【新設】
t 鋼製可動ガラリ	改修前	FP塗装 防虫網付き【既存のまま】
	改修後	下地調整、DP塗装【塗替】
u 打継ぎ目地	改修前	シーリング 25×15 アクリル系【撤去】
	改修後	シーリング 25×15 PU-2【打替】
v 鉄扉等	改修前	DP塗装【既存】
	改修後	下地調整後、DP塗装（扉内外面共）【塗替】
x 壁縦見切	改修前	アルミ製【撤去】
	改修後	アルミ製【新設】
サッシ・ガラリ	改修前	ユキキング【撤去】
	改修後	シーリング PU-2【新設】
建具水切り廻り	改修前	ユキキング【撤去】
	改修後	変成シリコン MS-2【新設】

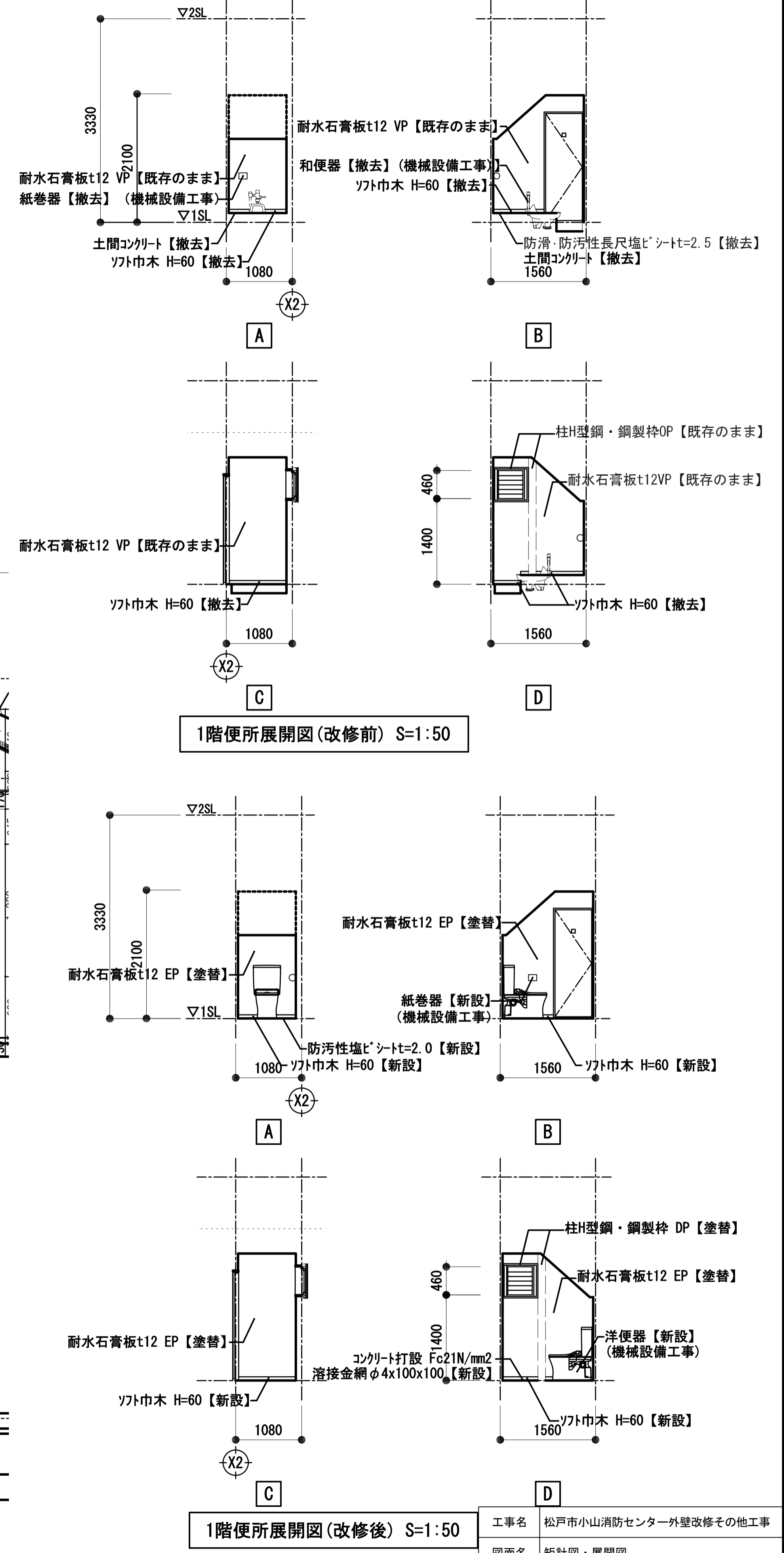
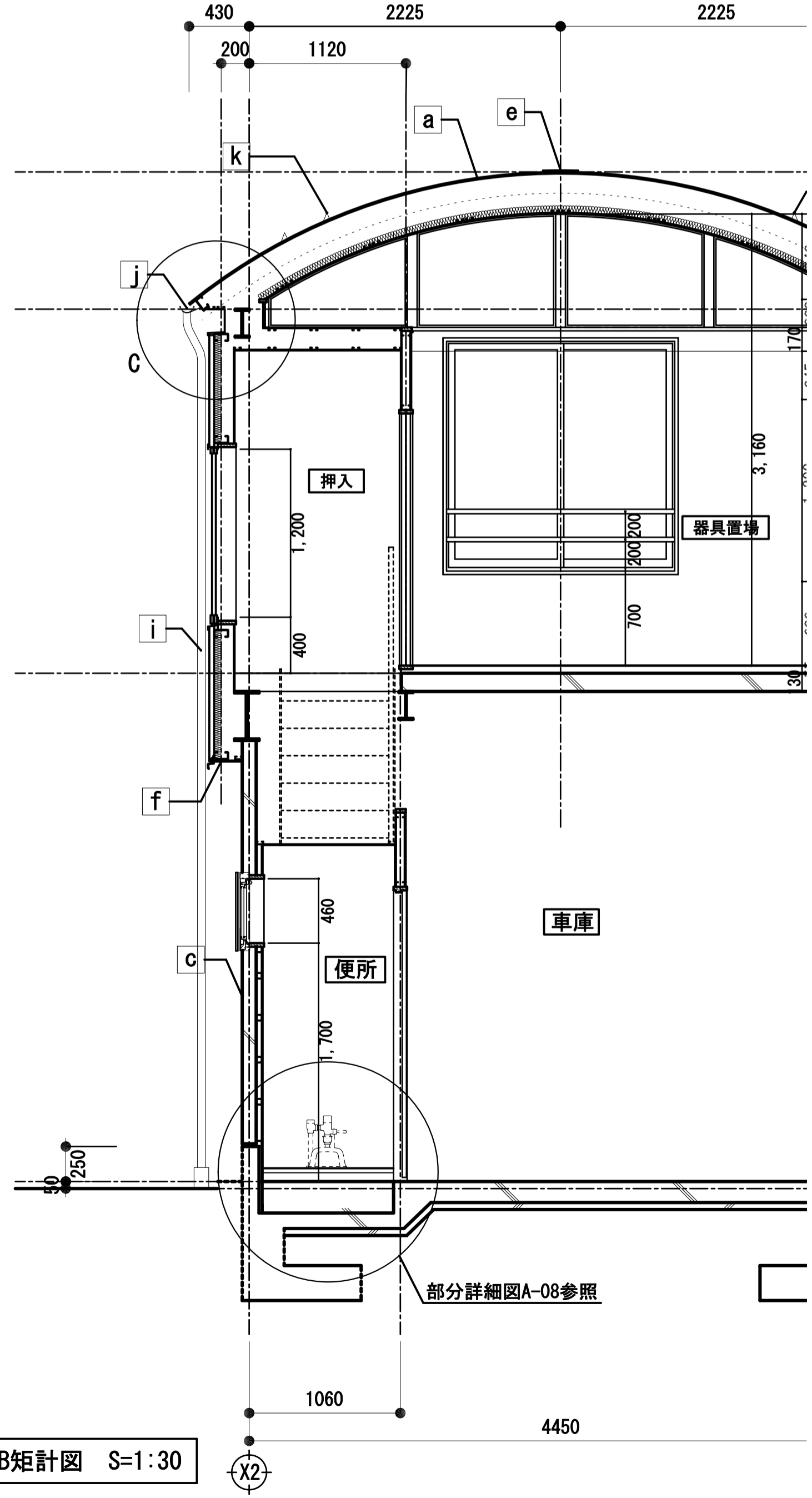
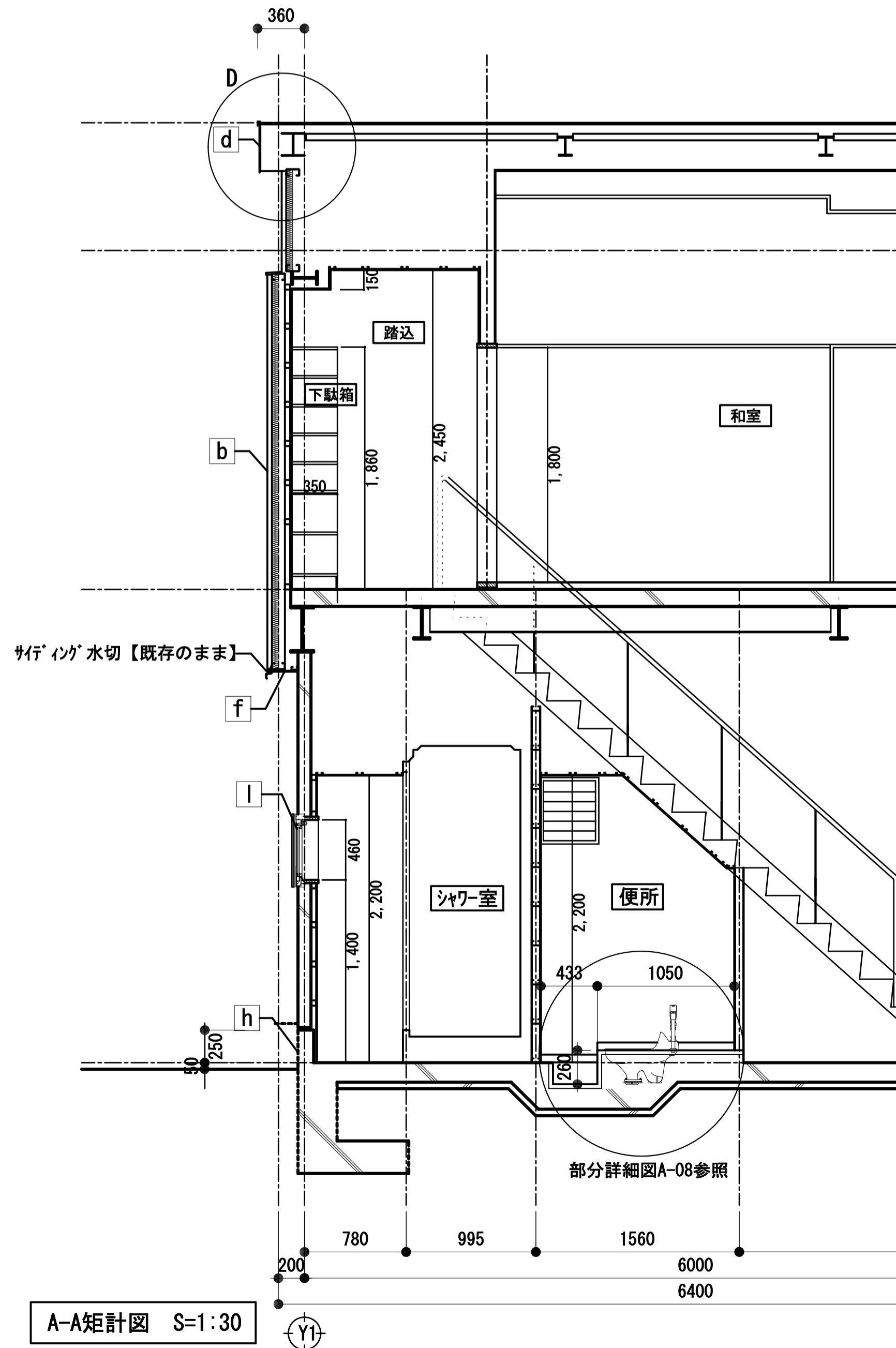
※エアコン室外機（ドレン管共）及びガス給湯機は取外し、再取付けとする。
 ※サッシ及びガラスはクリーニングすること。



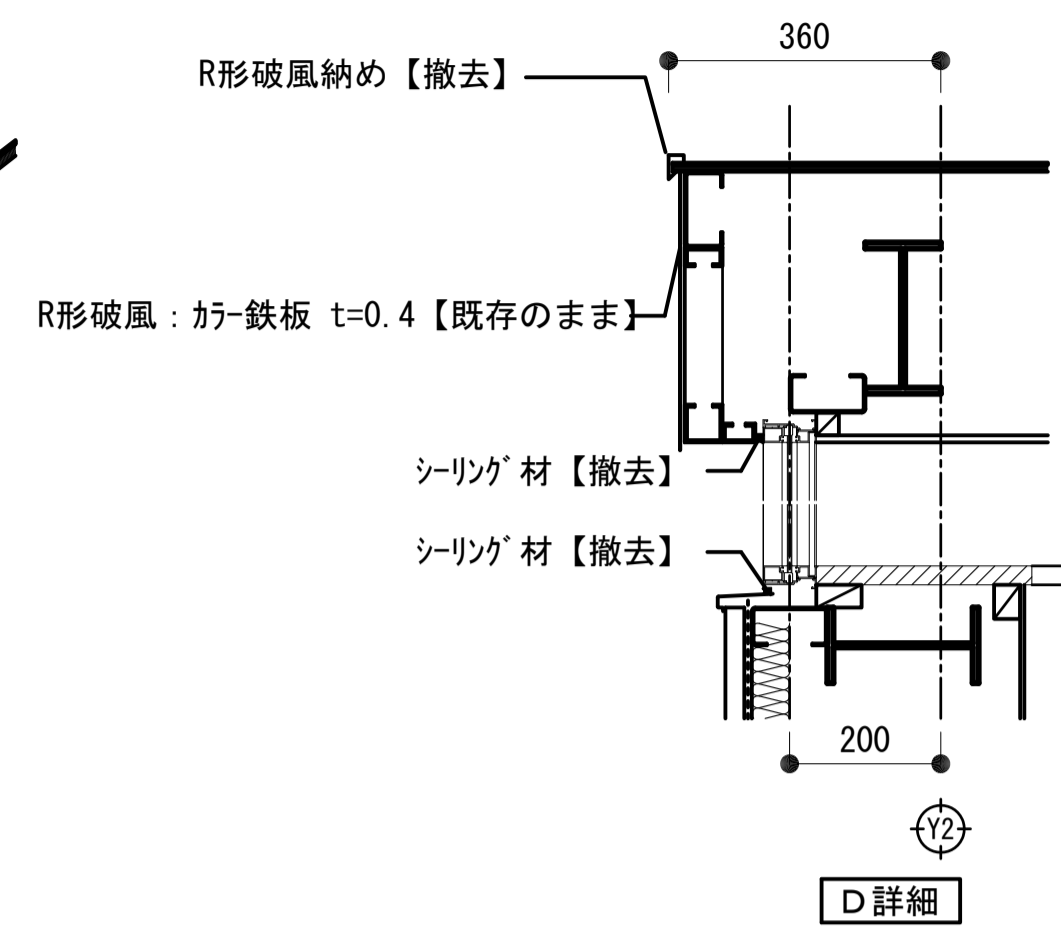
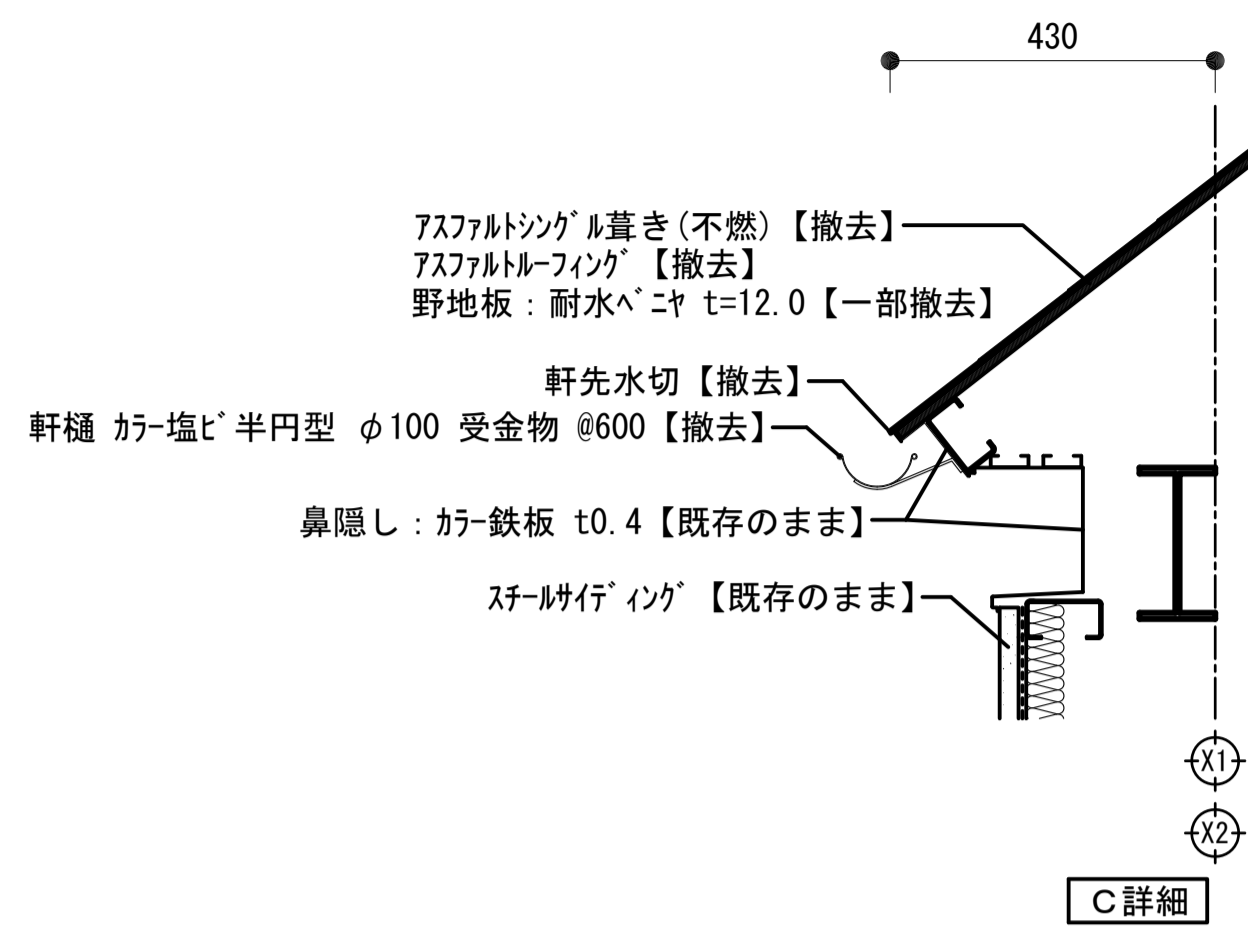
館名表示文字詳細図 S=1:10

工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	立面図		
作成年月日	令和6年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:50 (A1) 1:10 (A1)	図面番号	A-06
松戸市 街づくり部 建築保全課			

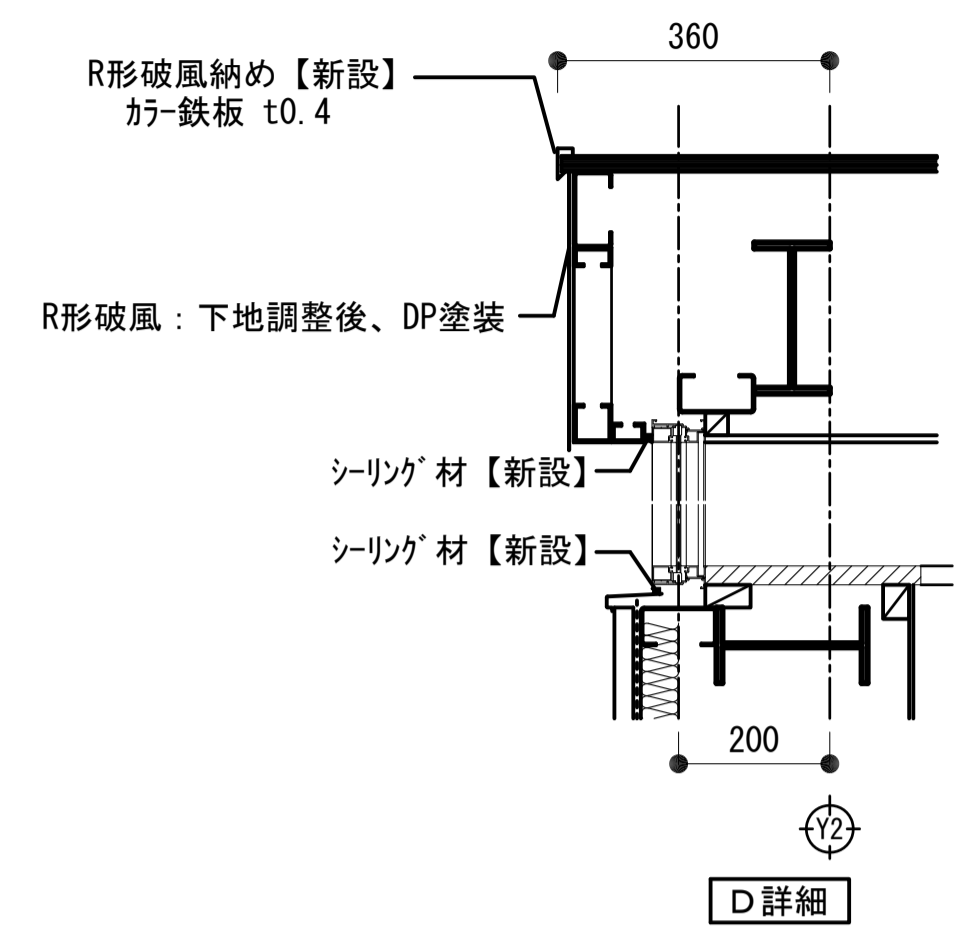
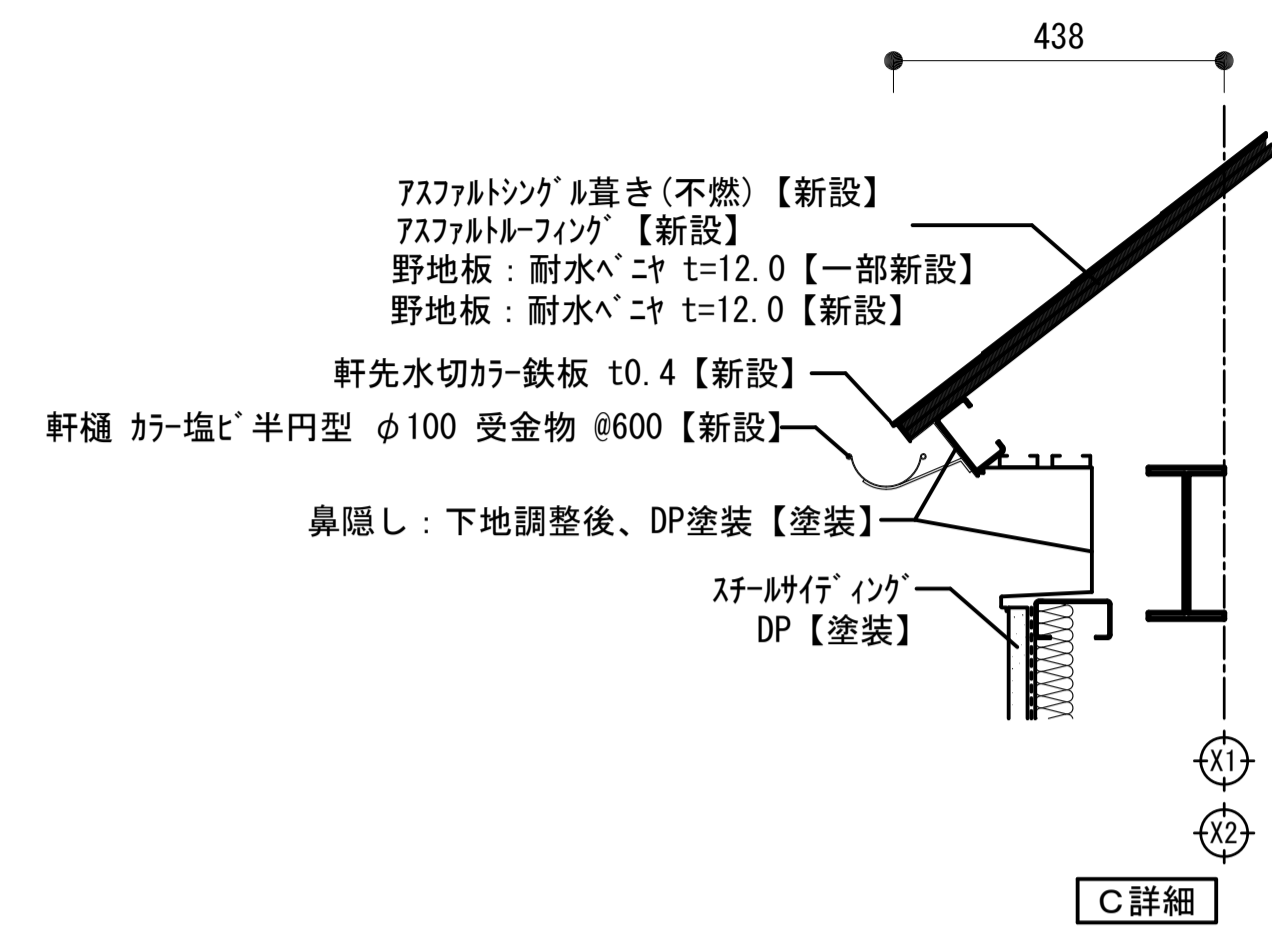
■凡例		
a	屋根	改修前 アルファルシグル葺き、ルーフing【撤去】及び野地板耐水ペニャt12【一部改修】 改修後 アルファルシグル葺き、ルーフing【新設】、野地板耐水ペニャt12【一部新設】及び同耐水ペニャt12【新設】
b	スチールサイディング	改修前 スチールサイディング【既存のまま】 改修後 下地調整後、DP塗装
c	ALCパネル	改修前 吹付タイル（アスベスト含有塗材） 改修後 下地調整後、複層塗材E（補修部：下地調整後（C-1）後、可とう形改修塗材）【塗替】
d	R形破風	改修前 カラ鉄板【既存のまま】 改修後 下地調整後、DP塗装【塗装】
e	棟包み	改修前 カラ鉄板【撤去】 改修後 カラ鉄板【新設】
f	1階軒裏	改修前 ケイカル板t6（アスベスト含有材）VP塗装【撤去】 改修後 ケイカル板t6 EP-G塗装【新設・塗装】
h	巾木	改修前 RC打放し【既存】 改修後 下地調整（C-1）後、ホリマセメント系基礎巾木用塗材【新設】
i	壁柱	改修前 硬質塩ビ管φ60 挿み金物@1,200【撤去】 改修後 カラVP管φ60 SUS製挿み金物@1,200【新設】
j	軒柱	改修前 軒柱 カラ塩ビ半円型φ100 受金物φ600【撤去】 改修後 軒柱 カラ塩ビ半円型φ100 受金物φ600【新設】
k	雪止め	改修前 【撤去】 改修後 SUS製φ600トナリ【新設】



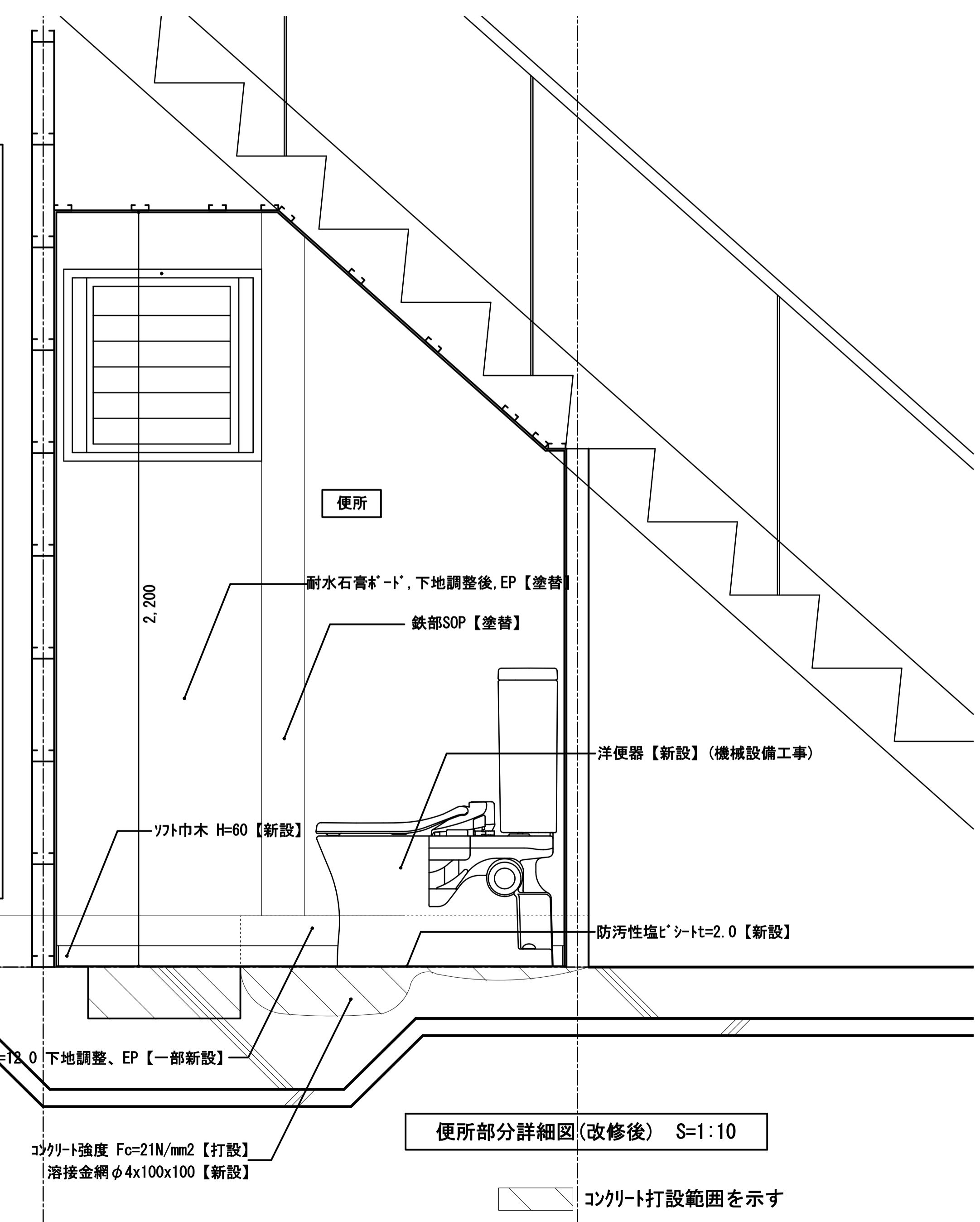
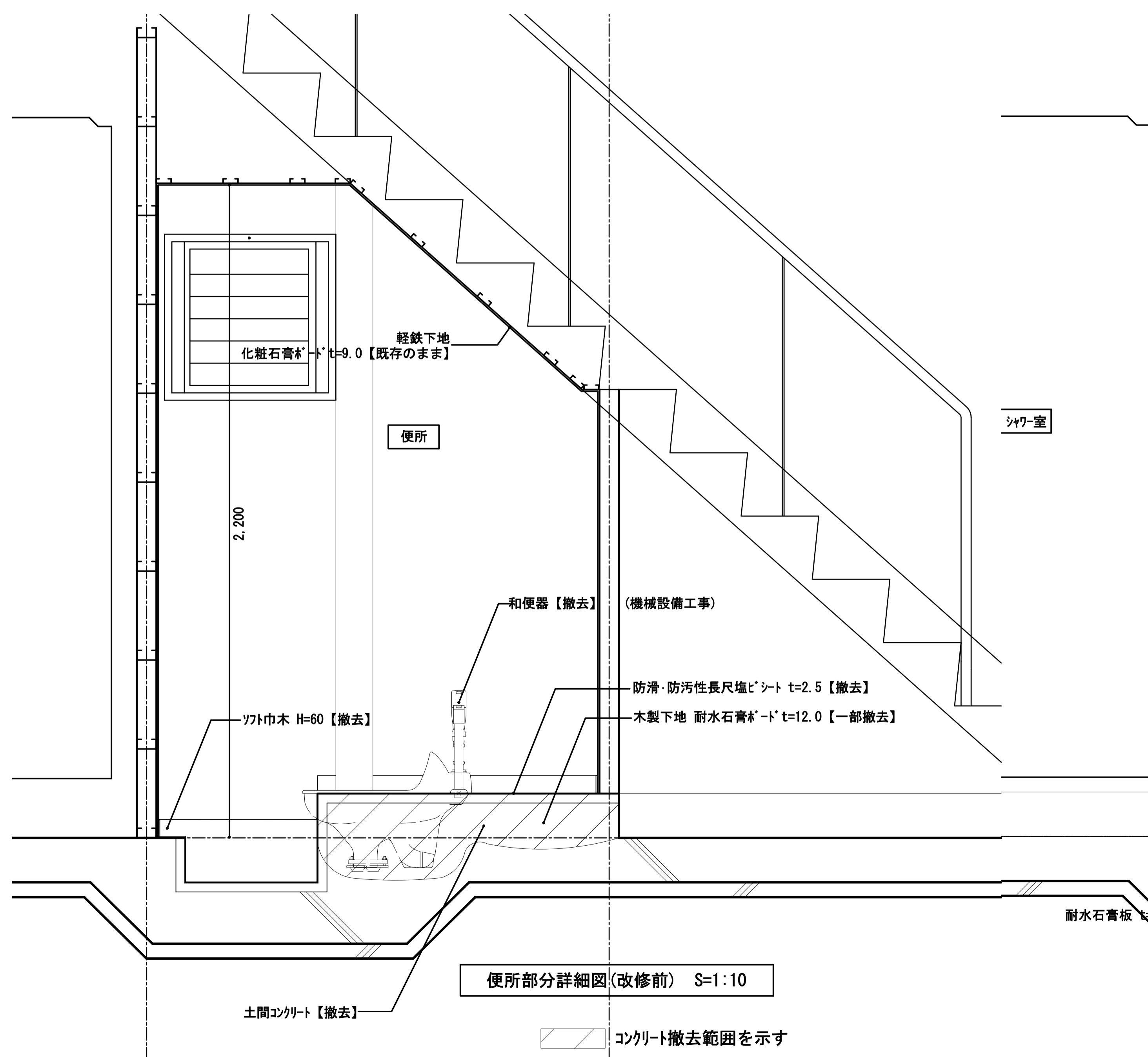
工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	矩計図・展開図		
作成年月日	令和6年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:50 (A1)	図面番号	A-07
	1:30 (A1)		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



屋根部分詳細図(改修前) S=1:50



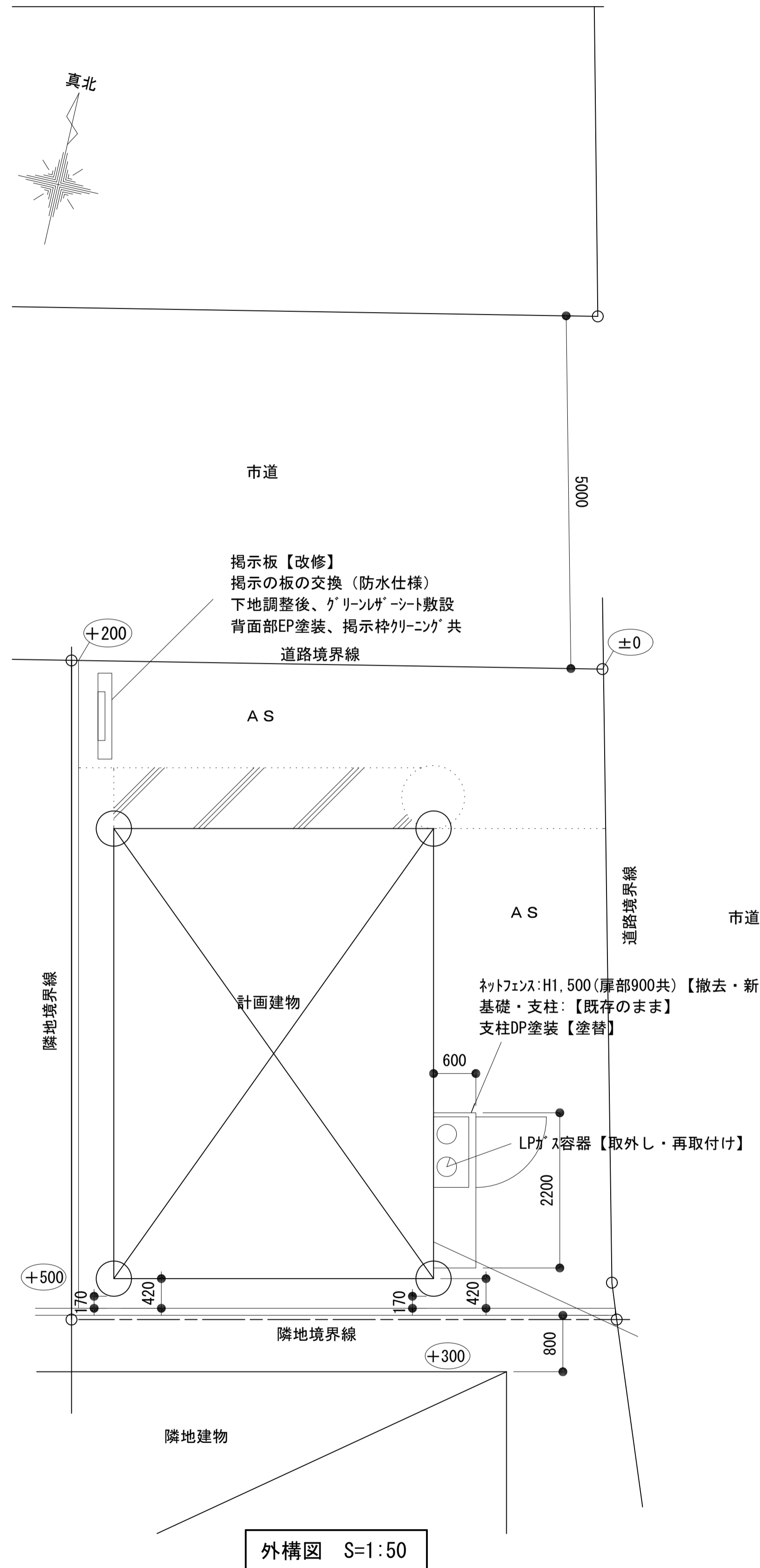
屋根部分詳細図(改修後) S=1:50



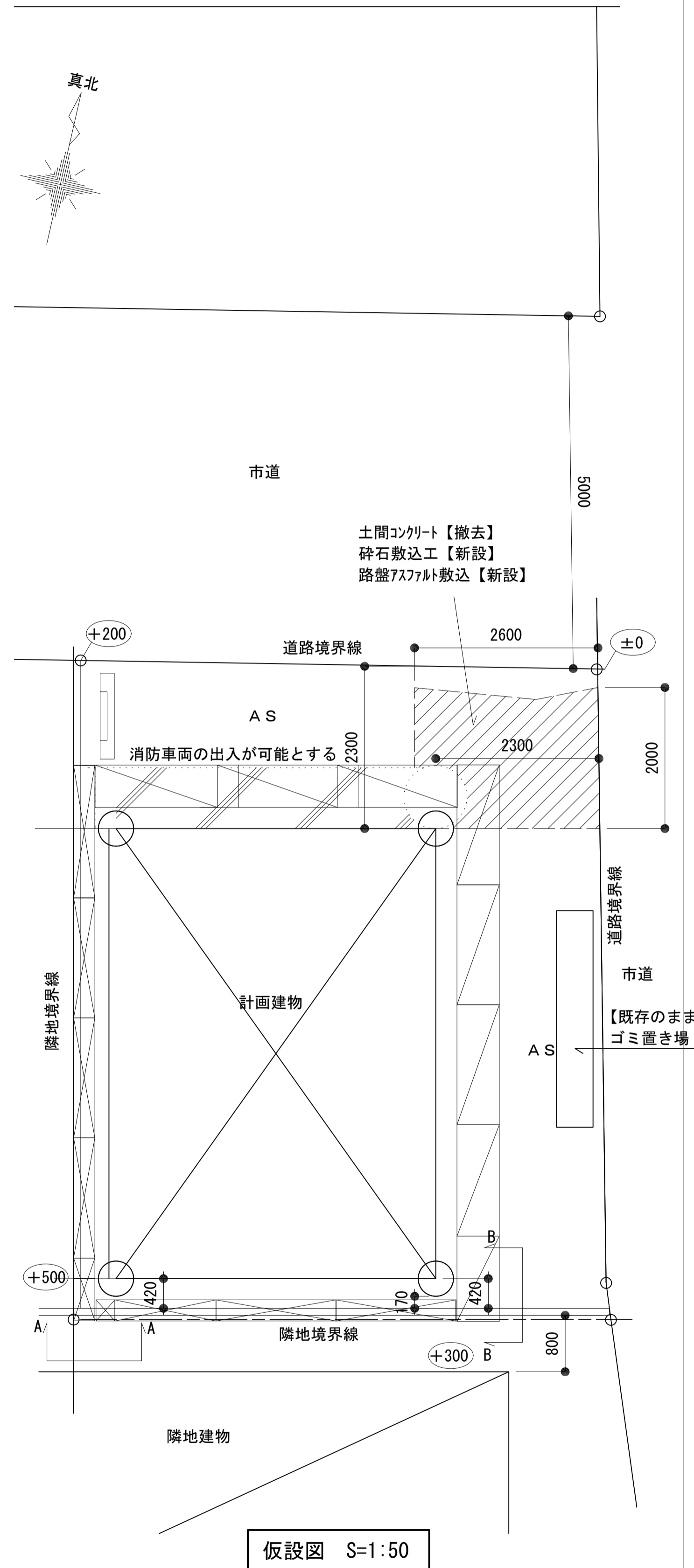
コンクリート撤去範囲を示す

コンクリート打設範囲を示す

工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和6年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:10 (A1)	図面番号	A-08
松戸市 街づくり部 建築保全課			



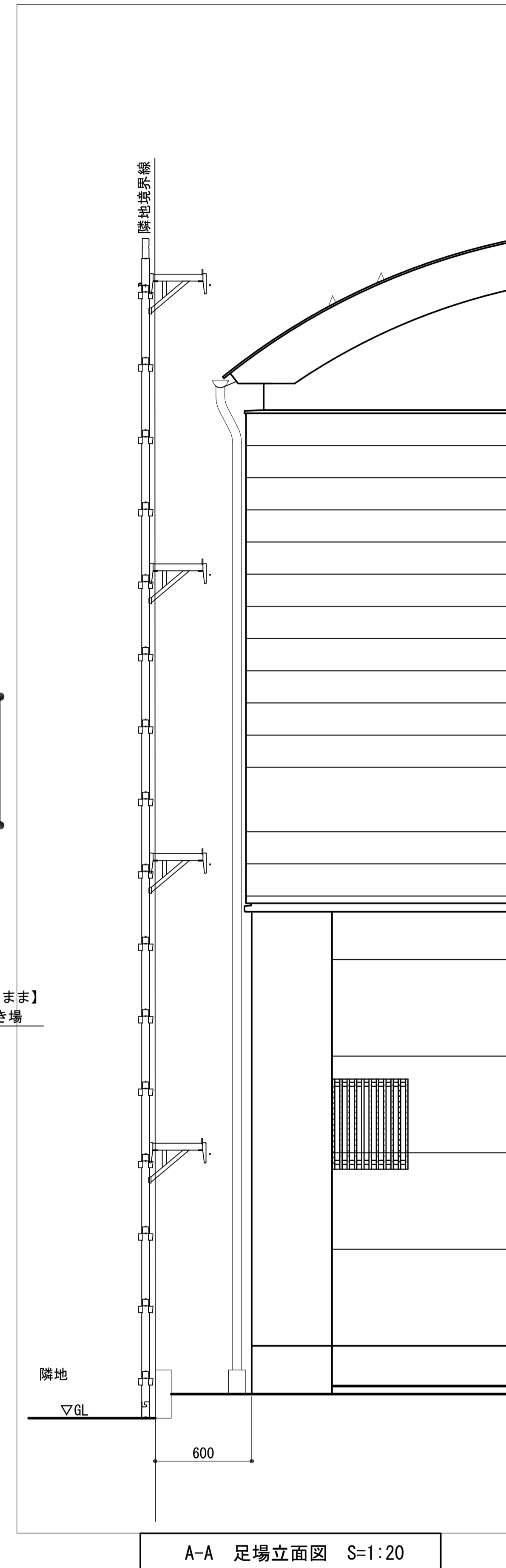
外構図 S=1:50



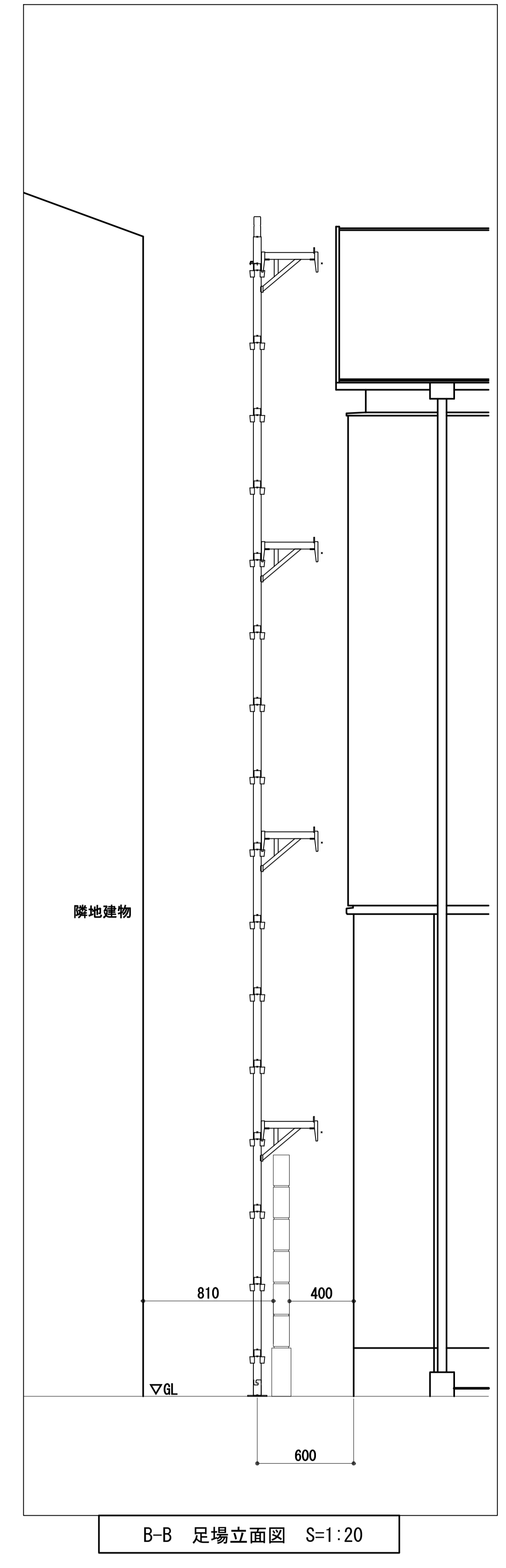
仮設図 S=1:50

<凡例>

- 枠組本足場 W=600 を示す
- 単管一側足場 W=300 を示す
- AS : アスファルト舗装を示す

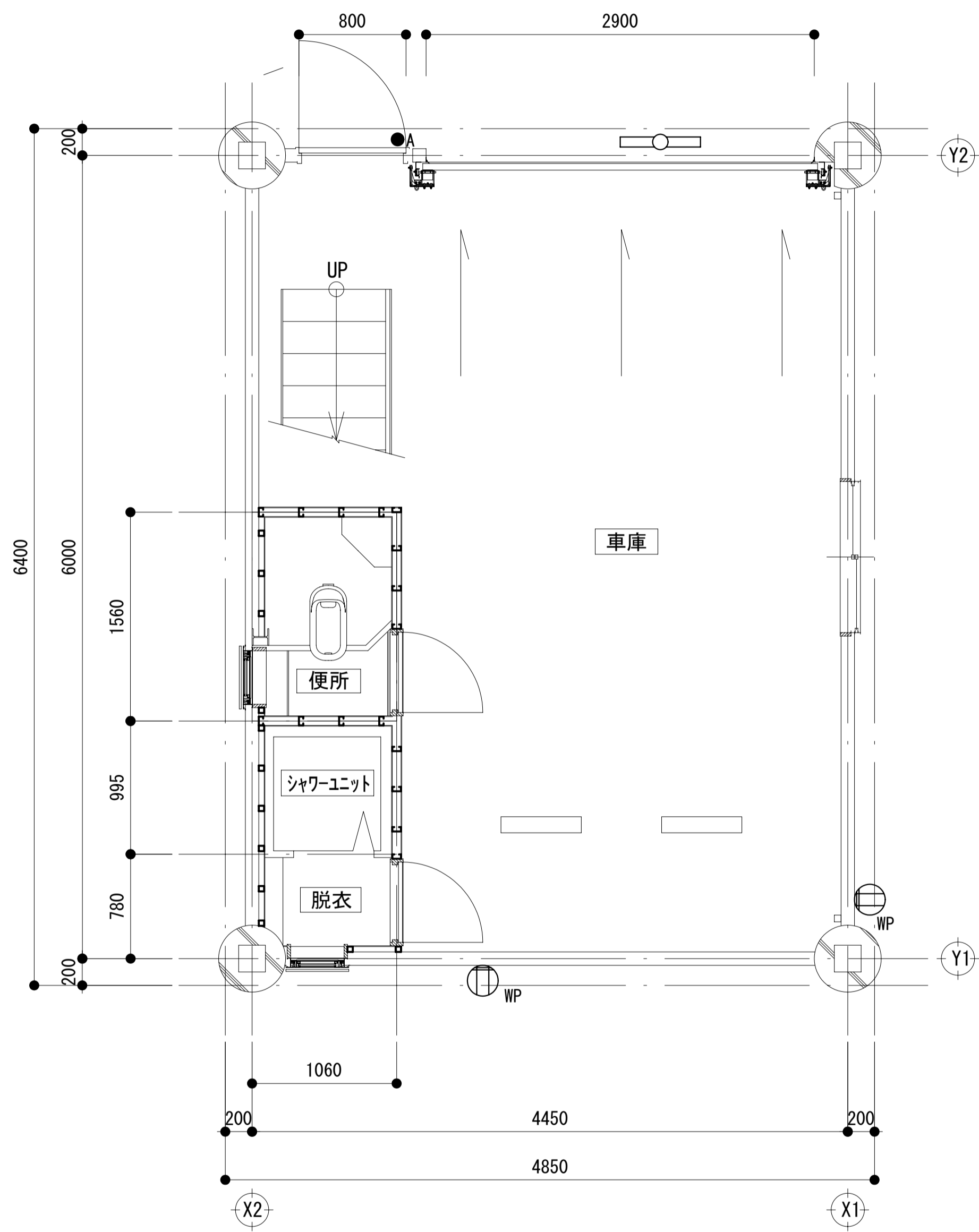


A-A 足場立面図 S=1:20

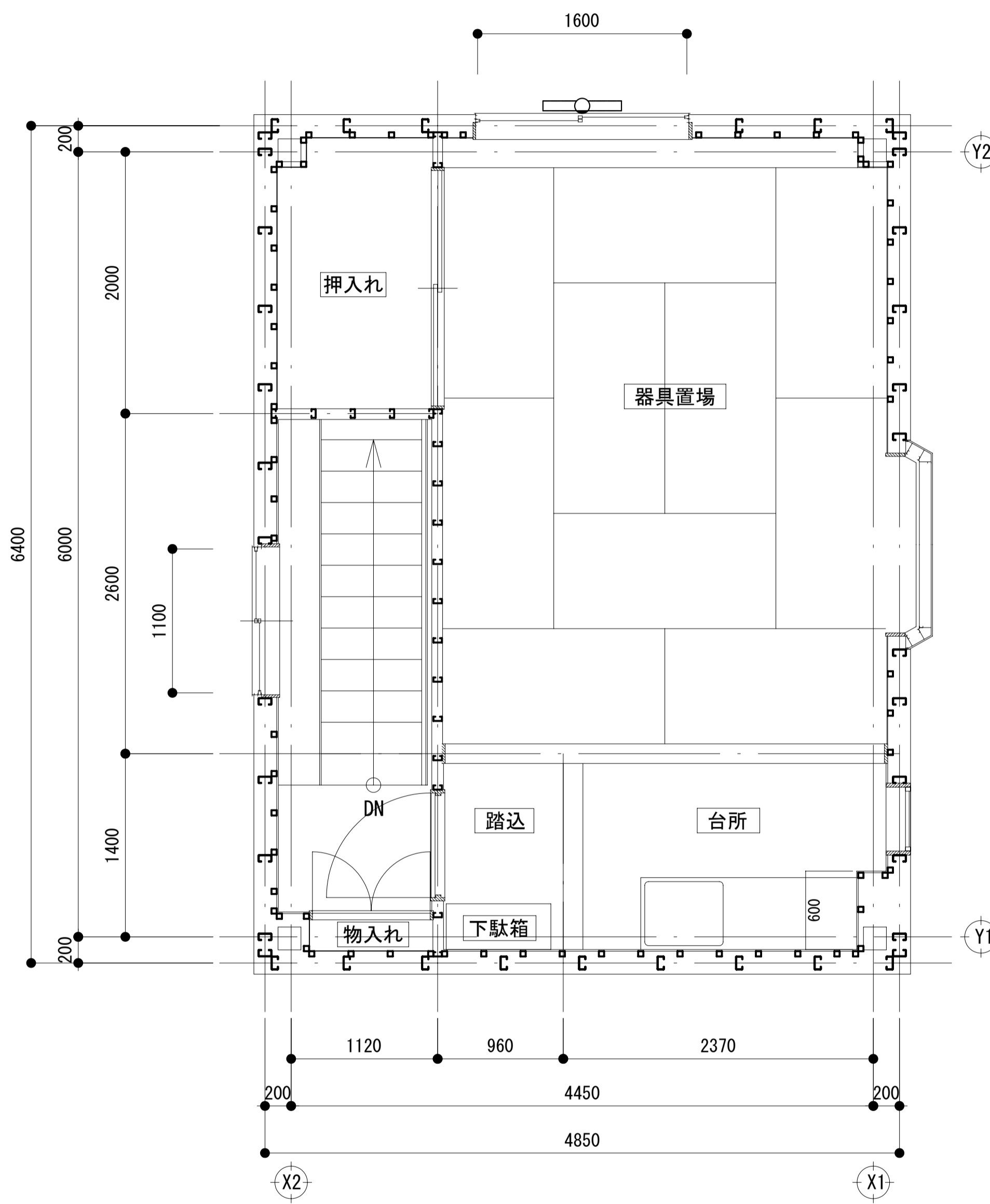


B-B 足場立面図 S=1:20

工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	外構図・仮設図・足場立面図(参考)		
作成年月日	令和6年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:50 (A1)	図面番号	A-09
松戸市 街づくり部 建築保全課			



1階平面図 S=1:30



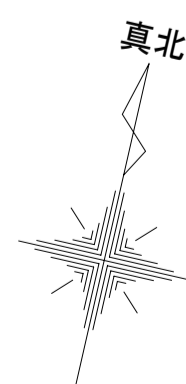
2階平面図 S=1:30

〈凡例〉

- 照明器具 (天井付) 撤去・新設 ×1
公共型番 LBF3MP/RP -2 -13 LN
- 照明器具 (壁付) 撤去・新設 ×1
参考型番 T3BR96957K (赤色灯)
- A 自動点滅器 撤去・新設 ×1
- ⊕ WP 壁付けコンセント (防雨形) 撤去・新設 ×2
2P15A×2 抜止め 接地極×2 接地端子付

〈工事内容〉

松戸市小山消防センター外壁改修に伴う電気設備工事を行う。
1. 電灯設備
外壁部の照明器具、コンセントの撤去新設を行う。



工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	電気設備平面図		
作成年月日	令和6年7月 日	変更年月日	
縮尺	1:30 (A1)	図面番号	E-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			

工事概要

1. 衛生設備工事
和便器を様便器に改修する。
2. 給水設備工事
改修した便器に給水管を接続する。
3. 排水設備工事
改修した便器に汚水管を接続する。
4. 撤去工事
既設和便器、紙巻器等を撤去する。

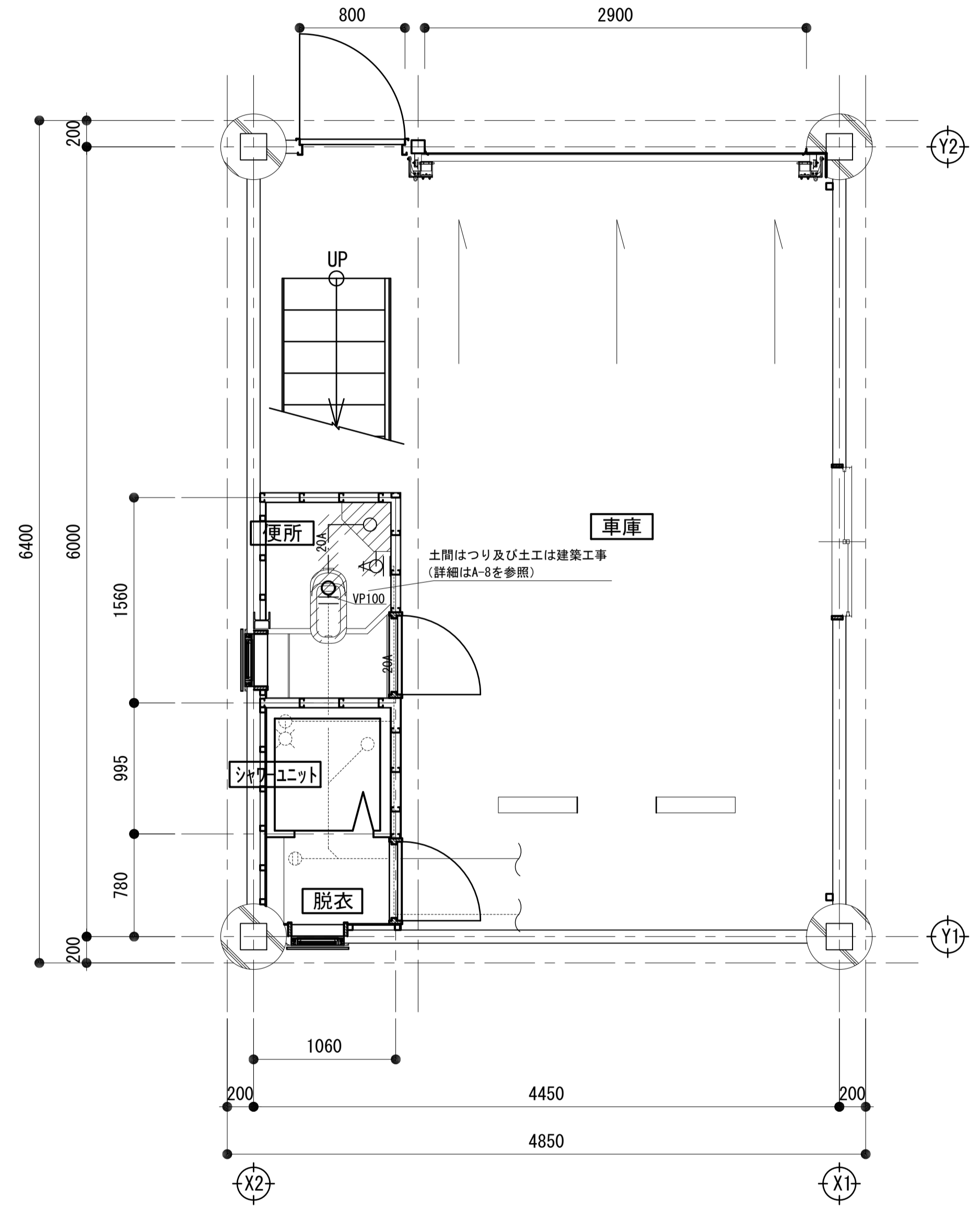
凡例

凡例	名称	仕様	備考
---	給水管	水道用フレキシブル管	
—	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP	
----	既設管		
⊕	止水栓		
	切断・接続箇所		
///	撤去範囲		

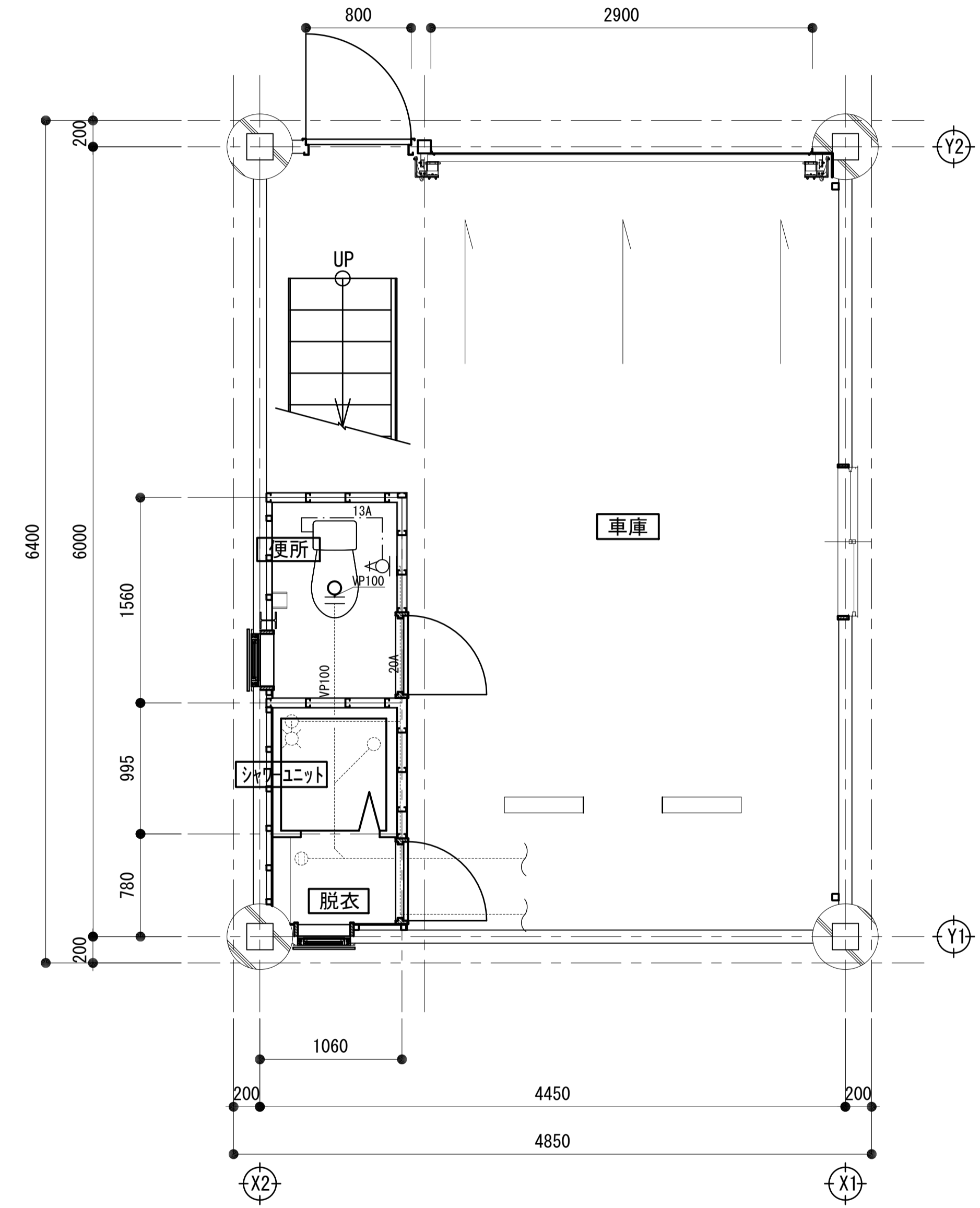
機器表

撤去				
名称	型番(JIS)	参考型番	仕様	備考
和風大便器		C750AV	タンク式	
紙巻器				

改修				
名称	型番(JIS)	参考型番	仕様	備考
大便器	C1200S	CS597BMS	腰掛便器、ロータンク式、普通便座	
紙巻器		YH51R		



1階平面図 (既設) S=1:30



1階平面図 (改修) S=1:30

工事名	松戸市小山消防センター外壁改修その他工事		
図面名	平面図 (既設、改修)		
作成年月日	令和 6年 7月	変更年月日	
縮尺	1 : 30	図面番号	M-01
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》 (2023.10)

1. 工事名称 松戸市小山消防センター外壁改修その他工事

2. 工事場所 松戸市小山97番地の1

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 7年 2月 14日 まで

4. CADデータの貸与 有 無

- ※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」を指す。
- ※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」を指す。
- ※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」を指す。
- ※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事实績情報(工事カルテ)の登録 (受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ) ※契約額が500万円以上(契約後10日以内に登録) 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	■電気保安技術者通知書 (資格者証の写し) 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出(下請契約がない場合不要)】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.6 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■ 1 工事記録写真	写真帳	1		
	■ 2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	□引渡し関係 □ 1 予備品等引渡通知書（リスト共） □ 2 キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □ 1 建築物等の利用に関する説明書 □ 2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □ 3 機器性能試験成績書 ■ 4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□ 5 総合試運転報告書 □ 6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2024.6)

1. 工事名称 松戸市小山消防センター外壁改修その他工事

2. 工事場所 松戸市小山97番地の1

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 7年 2月14日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

No	検査・立会い項目	基準等	備考
1	検査		
	■1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバース工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	□9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	■15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	□17 部分使用		
	□18 出来高		
2	立会い		
	■1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.7 改標仕 1. 7.7	
	□3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	